

(11) 特許出願公開番号

特開2017-152006

(P2017-152006A)

(43) 公開日 平成29年8月31日(2017.8.31)

(51) Int. Cl.
G06Q 30/02

F 1
G O 6 Q 30/02 3 8 2

テーマコード (参考)
5L049

審査請求 有 請求項の数 30 O L 外国語出願 (全 60 頁)

(21) 出願番号	特願2017-63529 (P2017-63529)
(22) 出願日	平成29年3月28日 (2017. 3. 28)
(62) 分割の表示	特願2015-125892 (P2015-125892) の分割
原出願日	平成24年2月27日 (2012. 2. 27)
(31) 優先権主張番号	61/454, 326
(32) 優先日	平成23年3月18日 (2011. 3. 18)
(33) 優先権主張国	米国 (US)

(71) 出願人 510130723
ザ ニールセン カンパニー (ユー エ
ス) エルエルシー
アメリカ合衆国, ニューヨーク州, ニ
ューヨーク, ブロード ストリート 8
5
(74) 代理人 100107456
弁理士 池田 成人
(74) 代理人 100148596
弁理士 山口 和弘
(74) 代理人 100123995
弁理士 野田 雅一
(74) 代理人 100162352
弁理士 酒巻 順一郎

最終頁に続く

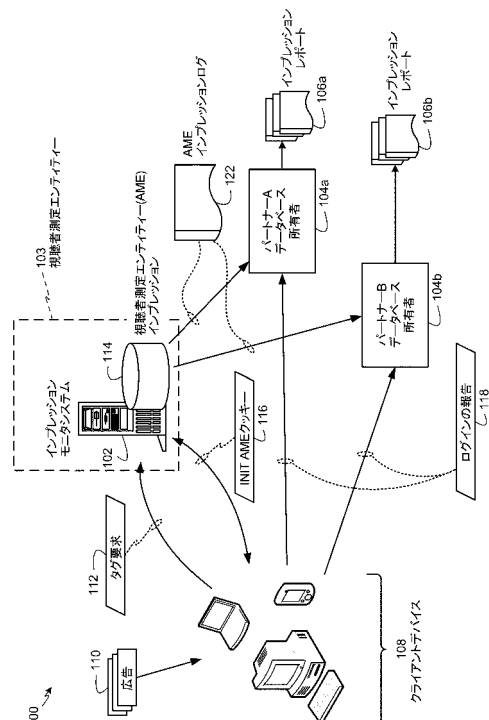
(54) 【発明の名称】 メディアインプレッションを特定する方法及び装置

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】メディアインプレッションを特定するための技術を提供する。

【解決手段】 コンピューティングデバイスにおいてデータベース所有者によって確立されたクッキー識別子を検知するステップと、メディアのインプレッションを特定するステップであって、そのインプレッションが、クッキー識別子が確立された後に生じる、ステップと、クッキー識別子に基づいて、インプレッションに関連付けられている第1のパネリスト識別子を特定するステップと、コンピューティングデバイスに関連付けられているパネリストメーターによるユーザ識別情報の特定に基づいて、インプレッションに関連付けられている第2のパネリスト識別子を特定するステップと、第1のパネリスト識別子と第2のパネリスト識別子とを比較することによって特定された調整係数を格納するステップとを含む。

【選択図】 図 1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) 第 1 のクライアントデバイスから第 1 のネットワーク通信において受信されたクッキーに対応する第 1 のパネリスト識別子であって、前記第 1 のネットワーク通信が、前記第 1 のクライアントデバイスを介してアクセスされたメディアのインプレッションを報告する、第 1 のパネリスト識別子、及び (B) 前記第 1 のクライアントデバイスを介した前記メディアへの前記アクセスに関連付けて前記第 1 のクライアントデバイス上のパネリストメーターによって格納された第 2 のパネリスト識別子、の比較に基づいて調整係数を特定するステップと、

データベース所有者によって提供されたデータにアクセスするステップであって、前記データが、第 2 のクライアントデバイスから前記データベース所有者によって受信された第 2 のネットワーク通信に基づいて前記データベース所有者によってログに記録されたインプレッションを表し、前記第 2 のネットワーク通信が、前記第 2 のクライアントデバイスを介した前記メディアへのアクセスを報告し、前記インプレッションのうちのいくつかが第 2 の人口統計に対応する場合に、前記インプレッションのうちの前記いくつかは前記データにおいて第 1 の人口統計に誤って帰されている、ステップと、

前記調整係数を前記データに適用することに基づいてインプレッションの調整された数を特定するステップであって、インプレッションの前記調整された数が、前記データの人口統計の正確さを改善することになる、ステップと

を含む方法。

【請求項 2】

前記第 2 のパネリスト識別子が、前記第 1 のパネリスト識別子とは異なる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記調整係数を特定するステップが、

前記第 1 のパネリスト識別子に関連付けられている前記メディアへの前記アクセスに基づいて、前記第 1 のパネリスト識別子に関連付けられている第 1 の人口統計グループに関するインプレッションの第 1 のカウントをインクリメントするステップと、

前記第 2 のパネリスト識別子に関連付けられている前記メディアへの前記アクセスに基づいて、前記第 2 のパネリスト識別子に関連付けられている第 2 の人口統計グループに関するインプレッションの第 2 のカウントをインクリメントするステップであって、前記第 1 の人口統計グループ及び前記第 2 の人口統計グループが、同じ人口統計に対応する、ステップと、

前記第 1 のカウントを前記第 2 のカウントで割って、前記調整係数を特定するステップと、

をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記第 2 のカウントが、前記パネリストメーターを含む複数のパネリストメーターによってログに記録されたインプレッションに対応する、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

コンピューティングセッションの第 1 のサブセットに関連付けられている前記第 1 のパネリスト識別子にアクセスするステップと、

前記コンピューティングセッションの第 2 のサブセットに関連付けられている第 3 のパネリスト識別子にアクセスするステップと、

前記クッキーに対応するインターネットアクセスが、前記コンピューティングセッションの前記第 2 のサブセット中よりも、前記コンピューティングセッションの前記第 1 のサブセット中にさらに頻繁であることに基づいて、前記クッキーが前記第 1 のパネリスト識別子に関連付けられていると特定するステップと、

をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記クッキーが前記第 1 のパネリスト識別子に関連付けられていると特定する前記ステップが、

前記第 1 のクライアントデバイスにおいて前記クッキーが確立された第 1 の時刻に基づいて前記コンピューティングセッションのうちの第 1 のコンピューティングセッションの始まりを特定すること、及び

前記第 1 のクライアントデバイスにおいて第 2 のクッキーが確立された第 2 の時刻に基づいて前記コンピューティングセッションのうちの前記第 1 のコンピューティングセッションの終わりを特定すること、を含む、

請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

インプレッションの前記調整された数が、第 1 及び第 2 の人口統計グループに関して特定され、前記調整係数が、第 1 の人口統計グループに対応し、インプレッションの前記調整された数の前記特定が、前記第 2 の人口統計グループに関する前記第 2 の調整係数を前記データに適用することをさらに含む、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

キャンペーンに関連付けられている第 1 のメディアプロバイダ及び第 2 のメディアプロバイダを特定するステップであって、前記調整係数が、前記第 1 のメディアプロバイダに関連付けられている、ステップと、

前記第 1 のメディアプロバイダに関して特定された第 1 のデータを前記調整係数にかけて、インプレッションの第 1 の調整された数を特定するステップと、

第 2 の調整係数を特定するステップと、

前記第 2 のメディアプロバイダに関して特定された第 2 のデータを前記第 2 の調整係数にかけて、インプレッションの第 2 の調整された数を特定するステップと、

インプレッションの前記第 1 の調整された数と、インプレッションの前記第 2 の調整された数とを足して、前記キャンペーンに関するインプレッションの調整された数を特定するステップと、

をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記第 1 のメディアプロバイダに関連付けられているキャンペーンインプレッションの割合を特定するステップをさらに含み、前記キャンペーンに関するインプレッションの前記調整された数が、前記第 1 のメディアプロバイダに関連付けられているキャンペーンインプレッションの前記割合に基づく、

請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記調整係数が、複数のパネリストメーターを使用して計算されたインプレッションの数と、前記データベース所有者によって計算されたインプレッションの数との間における差を示す、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

(A) 第 1 のクライアントデバイスから第 1 のネットワーク通信において受信されたクッキーに対応する第 1 のパネリスト識別子であって、前記第 1 のネットワーク通信が、前記第 1 のクライアントデバイスを介してアクセスされたメディアのインプレッションを報告する、第 1 のパネリスト識別子、及び (B) 前記第 1 のクライアントデバイスを介した前記メディアへの前記アクセスに関連付けて前記第 1 のクライアントデバイス上のパネリストメーターによって格納された第 2 のパネリスト識別子の比較に基づいて調整係数を特定するための調整係数ジェネレータと、

データベース所有者によって提供されたデータを格納するためのメモリであって、前記データが、第 2 のクライアントデバイスから前記データベース所有者によって受信された第 2 のネットワーク通信に基づいて前記データベース所有者によってログに記録されたイ

10

20

30

40

50

ンプレッションを表し、前記第 2 のネットワーク通信が、前記第 2 のクライアントデバイスを介した前記メディアへのアクセスを報告し、前記インプレッションのうちのいくつかが第 2 の人口統計に対応する場合に、前記インプレッションのうちの前記いくつかが前記データにおいて第 1 の人口統計に誤って帰されている、メモリと、

前記調整係数を前記データに適用することによってインプレッションの調整された数を特定するためのプロセッサであって、インプレッションの前記調整された数が、前記データの人口統計の正確さを改善する、プロセッサと

を備える装置。

【請求項 1 2】

前記第 2 のパネリスト識別子が、前記第 1 のパネリスト識別子とは異なる、請求項 1 1 に記載の装置。

10

【請求項 1 3】

前記第 1 のパネリスト識別子に関連付けられている前記メディアへの前記アクセスに基づいて、前記第 1 のパネリスト識別子に関連付けられている第 1 の人口統計グループに関するインプレッションの第 1 のカウントをインクリメントするパートナーセッションページビューアナライザと、

前記第 2 のパネリスト識別子に関連付けられている前記メディアへの前記アクセスに基づいて、前記第 2 のパネリスト識別子に関連付けられている第 2 の人口統計グループに関するインプレッションの第 2 のカウントをインクリメントするパネリストセッションページビューアナライザであって、前記第 1 の人口統計グループ及び前記第 2 の人口統計グループが、同じ人口統計に対応する、パネリストセッションページビューアナライザと、

20

前記第 1 のカウントを前記第 2 のカウントで割って、前記調整係数を特定する前記調整係数ジェネレータと

をさらに備える、請求項 1 1 に記載の装置。

【請求項 1 4】

前記第 2 のカウントが、前記パネリストメーターを含む複数のパネリストメーターによってログに記録されたインプレッションに対応する、請求項 1 3 に記載の装置。

【請求項 1 5】

コンピューティングセッションの第 1 のサブセットに関連付けられている前記第 1 のパネリスト識別子にアクセスし、

30

前記コンピューティングセッションの第 2 のサブセットに関連付けられている第 3 のパネリスト識別子にアクセスし、

前記クッキーに対応するインターネットアクセスが、前記コンピューティングセッションの前記第 2 のサブセット中よりも、前記コンピューティングセッションの前記第 1 のサブセット中にさらに頻繁であることに基づいて、前記クッキーが前記第 1 のパネリスト識別子に関連付けられていると特定する、

パートナーセッションページビューアナライザをさらに含む、

請求項 1 1 に記載の装置。

【請求項 1 6】

パートナーセッションページビューアナライザが、

40

前記第 1 のクライアントデバイスにおいて前記クッキーが確立された第 1 の時刻に基づいて前記コンピューティングセッションのうちの第 1 のコンピューティングセッションの始まりを特定すること、及び

前記第 1 のクライアントデバイスにおいて第 2 のクッキーが確立された第 2 の時刻に基づいて前記コンピューティングセッションのうちの前記第 1 のコンピューティングセッションの終わりを特定すること、によって、

前記クッキーが前記第 1 のパネリスト識別子に関連付けられているとさらに特定する、請求項 1 5 に記載の装置。

【請求項 1 7】

前記調整係数ジェネレータが、

50

キャンペーンに関連付けられている第 1 のメディアプロバイダ及び第 2 のメディアプロバイダを特定し、前記調整係数が、前記第 1 のメディアプロバイダに関連付けられており、

前記調整係数ジェネレータが、第 2 の調整係数を特定し、
前記プロセッサが、

前記第 1 のメディアプロバイダに関して特定された第 1 のデータを前記調整係数にかけて、インプレッションの第 1 の調整された数を特定し、

前記第 2 のメディアプロバイダに関して特定された第 2 のデータを前記第 2 の調整係数にかけて、インプレッションの第 2 の調整された数を特定し、

インプレッションの前記第 1 の調整された数と、インプレッションの前記第 2 の調整された数とを足して、前記キャンペーンに関するインプレッションの調整された数を特定する、

請求項 11 に記載の装置。

【請求項 18】

前記調整係数ジェネレータが、前記第 1 のメディアプロバイダに関連付けられているキャンペーンインプレッションの割合を特定し、前記キャンペーンに関するインプレッションの前記調整された数が、前記第 1 のメディアプロバイダに関連付けられているキャンペーンインプレッションの前記割合に基づく、

請求項 17 に記載の装置。

【請求項 19】

前記調整係数が、複数のパネリストメーターを使用して計算されたインプレッションの数と、前記データベース所有者によって計算されたインプレッションの数との間における差を示す、請求項 11 に記載の装置。

【請求項 20】

前記プロセッサが、第 1 及び第 2 の人口統計グループに関してインプレッションの前記調整された数を特定し、前記調整係数が、第 1 の人口統計グループに対応し、

インプレッションの前記調整された数の前記特定が、前記第 2 の人口統計グループに関する前記第 2 の調整係数を前記データに適用することをさらに含む、

請求項 11 に記載の装置。

【請求項 21】

命令を含むコンピュータ可読ストレージメディアであって、前記命令が、実行されたときに、マシンに、少なくとも、

(A) 第 1 のクライアントデバイスから第 1 のネットワーク通信において受信されたクッキーに対応する第 1 のパネリスト識別子であり、前記第 1 のネットワーク通信が、前記第 1 のクライアントデバイスを介してアクセスされたメディアのインプレッションを報告する、第 1 のパネリスト識別子、及び (B) 前記第 1 のクライアントデバイスを介した前記メディアへの前記アクセスに関連付けて前記第 1 のクライアントデバイス上のパネリストメーターによって格納された第 2 のパネリスト識別子の比較に基づいて調整係数を特定するステップと、

データベース所有者によって提供されたデータにアクセスするステップであり、前記データが、第 2 のクライアントデバイスから前記データベース所有者によって受信された第 2 のネットワーク通信に基づいて前記データベース所有者によってログに記録されたインプレッションを表し、前記第 2 のネットワーク通信が、前記第 2 のクライアントデバイスを介した前記メディアへのアクセスを報告し、前記インプレッションのうちのいくつかが第 2 の人口統計に対応する場合に、前記インプレッションのうちの前記いくつかは前記データにおいて第 1 の人口統計に誤って帰されている、ステップと、

前記調整係数を前記データに適用することによってインプレッションの調整された数を特定するステップであって、インプレッションの前記調整された数が、前記データの人口統計の正確さを改善する、ステップとを行わせるコンピュータ可読ストレージメディア。

【請求項 22】

前記第2のパネリスト識別子が、前記第1のパネリスト識別子とは異なる、請求項21に記載のコンピュータ可読ストレージメディア。

【請求項23】

前記命令が、実行されたときに、前記マシンに、少なくとも、

前記第1のパネリスト識別子に関連付けられている前記メディアへの前記アクセスに基づいて、前記第1のパネリスト識別子に関連付けられている第1の人口統計グループに関するインプレッションの第1のカウントをインクリメントするステップと、

前記第2のパネリスト識別子に関連付けられている前記メディアへの前記アクセスに基づいて、前記第2のパネリスト識別子に関連付けられている第2の人口統計グループに関するインプレッションの第2のカウントをインクリメントするステップであって、前記第1の人口統計グループ及び前記第2の人口統計グループが、同じ人口統計に対応する、ステップと、

前記第1のカウントを前記第2のカウントで割って、前記調整係数を特定するステップとを行わせる、

請求項21に記載のコンピュータ可読ストレージメディア。

【請求項24】

前記第2のカウントが、前記パネリストメーターを含む複数のパネリストメーターによってログに記録されたインプレッションに対応する、

請求項23に記載のコンピュータ可読ストレージメディア。

【請求項25】

前記命令が、実行されたときに、前記マシンに、少なくとも、

コンピューティングセッションの第1のサブセットに関連付けられている前記第1のパネリスト識別子にアクセスするステップと、

前記コンピューティングセッションの第2のサブセットに関連付けられている第3のパネリスト識別子にアクセスするステップと、

前記クッキーに対応するインターネットアクセスが、前記コンピューティングセッションの前記第2のサブセット中よりも、前記コンピューティングセッションの前記第1のサブセット中にさらに頻繁であることに基づいて、前記クッキーが前記第1のパネリスト識別子に関連付けられていると特定するステップと、

を行わせる、請求項21に記載のコンピュータ可読ストレージメディア。

【請求項26】

前記命令が、実行されたときに、前記マシンに、少なくとも、

前記第1のクライアントデバイスにおいて前記クッキーが確立された第1の時刻に基づいて前記コンピューティングセッションのうちの第1のコンピューティングセッションの始まりを特定すること、及び

前記第1のクライアントデバイスにおいて第2のクッキーが確立された第2の時刻に基づいて前記コンピューティングセッションのうちの前記第1のコンピューティングセッションの終わりを特定すること、によって、

前記クッキーが前記第1のパネリスト識別子に関連付けられていると特定するステップとを行わせる、

請求項25に記載のコンピュータ可読ストレージメディア。

【請求項27】

前記命令が、実行されたときに、前記マシンに、少なくとも、

第1及び第2の人口統計グループに関してインプレッションの前記調整された数を特定させ、前記調整係数が、第1の人口統計グループに対応し、インプレッションの前記調整された数の前記特定が、前記第2の人口統計グループに関する前記第2の調整係数を前記データに適用するステップをさらに含む、

請求項21に記載のコンピュータ可読ストレージメディア。

【請求項28】

前記命令が、実行されたときに、前記マシンに、少なくとも、

10

20

30

40

50

キャンペーンに関連付けられている第1のメディアプロバイダ及び第2のメディアプロバイダを特定するステップであって、前記調整係数が、前記第1のメディアプロバイダに関連付けられている、ステップと、

前記第1のメディアプロバイダに関して特定された第1のデータを前記調整係数にかけて、インプレッションの第1の調整された数を特定するステップと、

第2の調整係数を特定するステップと、

前記第2のメディアプロバイダに関して特定された第2のデータを前記第2の調整係数にかけて、インプレッションの第2の調整された数を特定するステップと、

インプレッションの前記第1の調整された数と、インプレッションの前記第2の調整された数とを足して、前記キャンペーンに関するインプレッションの調整された数を特定するステップと、

10

を行わせる、請求項21に記載のコンピュータ可読ストレージメディア。

【請求項29】

前記命令が、実行されたときに、前記マシンに、少なくとも、

前記第1のメディアプロバイダに関連付けられているキャンペーンインプレッションの割合を特定するステップを行わせ、前記キャンペーンに関するインプレッションの前記調整された数が、前記第1のメディアプロバイダに関連付けられているキャンペーンインプレッションの前記割合に基づく、

請求項28に記載のコンピュータ可読ストレージメディア。

【請求項30】

20

前記調整係数が、複数のパネリストメーターを使用して計算されたインプレッションの数と、前記データベース所有者によって計算されたインプレッションの数との間における差を示す、請求項21に記載のコンピュータ可読ストレージメディア。

【発明の詳細な説明】

【関連出願】

【0001】

[0001]本特許は、2011年3月18日に出願された米国特許仮出願第61/454,326号に対する優先権を主張し、この仮出願は、参照によってその全体が本明細書に組み込まれている。

30

【技術分野】

【0002】

[0002]本開示は、一般には、メディアをモニタすることに関し、より詳細には、メディアインプレッションを特定する方法及び装置に関する。

【背景技術】

【0003】

[0003]伝統的に、視聴者測定エンティティは、登録されたパネルメンバーに基づいて、メディア番組編成のために視聴者の関与レベルを特定する。すなわち、視聴者測定エンティティは、モニタされることに同意する人々をパネルに登録する。次いで視聴者測定エンティティは、それらのパネルメンバーをモニタして、それらのパネルメンバーに露出されたメディア（たとえば、テレビジョン番組又はラジオ番組、映画、DVD、広告など）を特定する。この方法においては、視聴者測定エンティティは、収集されたメディア測定データに基づいて、さまざまなメディアに関する露出測定値を特定することができる。

40

【0004】

[0004]ウェブページ、広告、及び／又はその他のコンテンツなどのインターネットリソースへのユーザアクセスをモニタするための技術は、数年にわたって著しく進化してきた。いくつかの知られているシステムは、そのようなモニタリングを、主としてサーバログを通じて実行する。特に、インターネット上でメディアを提供するエンティティは、自分たちのメディアを求める受信された要求の数を自分たちのサーバにおいてログに記録す

50

るための知られている技術を使用することができる。

【発明の概要】

【課題を解決するための手段】

【0005】

[0024] ウェブページ、広告、コンテンツ、及び／又はその他のメディアなどのインターネットリソースへのユーザアクセスをモニタするための技術は、数年にわたって著しく進化してきた。過去のある時点では、そのようなモニタリングは、主としてサーバログを通じて行われていた。特に、インターネット上でメディアを提供するエンティティは、自分たちのメディアを求める受信された要求の数を自分たちのサーバにおいてログに記録する。サーバログに基づいてインターネットの利用を調査することには、いくつかの理由から問題がある。たとえばサーバログは、直接、又は、サーバログカウントを増やすためにメディアをサーバに繰り返し要求するゾンビプログラムを介して、改ざんされることがある。第2に、メディアは、ときとして、いったん取り出されて、ローカルにキャッシュされ、そのローカルキャッシュから繰り返し視聴されて、繰り返しの視聴にサーバを関与させない場合がある。サーバログは、キャッシュされたメディアのこれらの視聴を追跡把握することはできない。したがって、サーバログは、カウントが多すぎる誤差と、カウントが少なすぎる誤差との両方に陥りやすい。

【0006】

[0025] Blumenauの米国特許第6, 108, 637号に開示されている発明は、インターネットのモニタリングが実行される方法を根本から変え、上述のサーバ側でのログモニタリング技術の限界を克服した。たとえば、Blumenauは、追跡把握されるインターネットメディア（たとえば、コンテンツ、広告など）にビーコン命令（たとえば、タグ命令）がタグ付けされる技術を開示した。特に、モニタリング命令が、追跡把握されるメディア（たとえば、広告、又はその他のインターネットコンテンツ）のHTMLに関連付けられる。クライアントがメディアを要求すると、コンテンツと、ビーコン命令又はタグ命令との両方が、同時に（たとえば、タグ命令がHTML内に存在する状態で）、又はその後の要求を介して（たとえば、コンテンツのHTML内に埋め込まれているモニタリング命令を取り出す要求の実行を介して）、そのクライアントにダウンロードされる。したがってタグ命令は、メディアがアクセスされるときには常に、サーバからであるか、又はキャッシュからであるかにかかわらず、実行される。

【0007】

[0026] タグ命令は、メディアへのアクセスに関する情報を反映するモニタリングデータが、そのメディアをダウンロードしたクライアントからモニタリングエンティティへ送信されるようにする。モニタリングエンティティは、メディアをクライアントに提供しなかった視聴者測定エンティティである場合があり、正確な利用統計を提供するための信頼されているサードパーティー（たとえば、The Nielsen Company, LLC）である。有利なことに、タグ命令はメディアに関連付けられており（たとえば、メディアの何らかの部分に埋め込まれているか又はその他の形でリンクされており）、メディアがアクセスされるときには常にクライアントブラウザによって実行されるため、モニタリング情報は、クライアントが視聴者測定会社のパネリストであるかどうかにかかわらず、視聴者測定会社に提供される。

【0008】

[0027] いくつかの場合においては、人口統計をモニタリング情報にリンクさせることが重要である。この問題に対処するために、視聴者測定会社は、自分の人口統計情報を提供すること、及び自分のインターネット閲覧活動がモニタされることに同意したユーザのパネルを確立する。個人がパネルに加わるとき、彼らは、自分の身元及び人口統計（たとえば、性別、人種、収入、家の場所、職業など）に関する詳細な情報を視聴者測定会社に提供する。視聴者測定エンティティは、パネリストのコンピュータ上にクッキー（たとえば、パネリストクッキー）を設定し、このクッキーは、タグ付けされているメディア（たとえば、ビーコン命令又はタグ命令に関連付けられているメディア）にパネリストがアク

セスするときには常にそのパネリストを視聴者測定エンティティが識別できるようにし、ひいてはモニタリング情報を視聴者測定エンティティに送信する。

【0009】

[0028] タグ付けされているページからモニタリング情報を提供するクライアントのほとんどは、パネリストではなく、ひいては視聴者測定エンティティに知られていないため、パネリストに関して収集されたデータに基づく人口統計情報を、タグ付けされているメディアに関するデータを提供するユーザのより大きな集団に帰する統計的な方法を使用することが、これまで必要であった。しかし、視聴者測定エンティティのパネルのサイズは、ユーザの一般的な集団と比較すると、依然として小さい。したがって、パネルの人口統計データが正確である状態を確保しながらパネルのサイズをいかに大きくするかという問題が提示される。

10

【0010】

[0029] インターネット上で運営している多くのデータベース所有者がいる。これらのデータベース所有者は、多数の加入者又は登録ユーザにサービスを提供している。サービスの提供と引き換えに、加入者は、所有者に登録する。この登録の一環として、加入者は、詳細な人口統計情報を提供する。そのようなデータベース所有者の例としては、Facebook や、MySpace などのソーシャルネットワークプロバイダが含まれる。これらのデータベース所有者は、自分の加入者たちのコンピューティングデバイス（たとえば、コンピュータ、携帯電話など）の上にクッキーを設定して、自分のウェブサイトユーザたちが訪れたときにそのユーザたちを認識できるようにする。

20

【0011】

[0030] インターネットのプロトコルは、クッキーが設定されたドメイン（たとえば、インターネットドメイン、ドメイン名など）以外ではそのクッキーにアクセスできないようにする。したがって、HFZlaw.com ドメインに設定されたクッキーは、HFZlaw.com ドメイン内のサーバにとってはアクセス可能であるが、そのドメイン以外のサーバにとってはアクセス不可能である。したがって、視聴者測定エンティティは、データベース所有者によって設定されたクッキーにアクセスすることが有利だと気づくかもしれないが、それを行うことはできない。

【0012】

[0031] 前述のことを考慮して、図1～図15において示され、本明細書の対応する部分において説明されるのは、データベース所有者の既存のデータベースを活用して、より広範囲に及ぶインターネット利用及び人口統計のデータを収集するための方法及び装置である。たとえば、例示的な方法及び装置のうちのいくつかは、ユーザのコンピュータ上に格納されているクッキーを活用し、それらのクッキーは、データベースプロバイダにログインしたことがあるユーザを識別する。しかし、共有されているコンピュータに関しては、データベースプロバイダにログインしたユーザの識別情報が、そのコンピュータを実際に使用している人物と一致しない場合がある。第1のユーザがデータベースプロバイダにログインして、クッキーがコンピュータ上に格納されるという状況を考えていただきたい。第1のユーザは、コンピュータを使用するのをやめるが、データベースプロバイダからログアウトしないと想定する。さらに、次いで第2のユーザが、そのコンピュータを使用し始めると想定する。第2のユーザがそのコンピュータを使用している間に、コンピュータユーザを識別するためにデータベースプロバイダからのクッキーが使用される場合、そのコンピュータにおける活動は、誤って第1のユーザに帰せられることになる。データベースプロバイダのクッキーがコンピュータ上にまったく存在しない場合には、別の問題が生じる。クッキーがコンピュータ上にまったく存在しない場合、クッキーを活用する技術は、人口統計情報をコンピュータの活動に関連付けることができないであろう。

30

40

【0013】

[0032] コンピューティング活動中のユーザを不正確に予測することに起因して不正確に帰することを補うために、図16～図28に関連して説明されている例示的な方法及び装置は、データベースプロバイダを使用して特定されるデータ（たとえば、図1～図15に

50

関連して説明されているように特定される情報)に関する(1つ又は複数の)調整係数を特定する。一部のパネリスト(「従来のパネリスト」)は、自分の人口統計情報を測定エンティティに提供すること、及び／又は自分のコンピュータ活動に関するさらに詳細な情報の収集を許可することに前向きである。たとえば、一部の従来のパネリストは、コンピュータ活動の詳細な活動を追跡把握するためのパネリストメーターソフトウェアが自分のコンピュータ上にインストールされることを許可する。本明細書において開示されているいくつかの例においては、コンピューティングセッションに関してパネリストメーターソフトウェアから収集された人口統計情報を、同じコンピューティングセッションに関してデータベースプロバイダを使用して特定された人口統計情報と比較することによって、調整係数(たとえば、誤差率、訂正係数、補正係数など)が特定される。言い換えれば、コンピューティングセッションに関する人口統計情報は、2つの異なる技術(たとえば、パネリストメータリングソフトウェアを使用して自分自身を名乗るようにユーザに促すこと、及びデータベースプロバイダを使用してユーザの識別情報を特定すること)を使用して特定され、それらの2つの技術に関する人口統計情報を比較して、調整係数が特定される。次いで、例示的な調整係数を、その他のコンピューティングセッション(たとえば、データベースプロバイダを使用して特定されたすべてのコンピューティングセッション(又はサブセット)に関する人口統計情報)に適用することができる。いくつかの例においては、調整係数をさらに正確に特定するために、比較及び調整係数の特定が、すべての従来のパネリストに関して行われる。調整係数は、それぞれのメディアプロバイダごとに、メディアプロバイダのそれぞれのグループごとに、メディアプロバイダの母集団全体に関して、及び／又はそれらの任意の組合せに関して特定することができる。

10

20

【0014】

[0033]図1～図15の例を参照すると、本明細書において開示されている例示的な方法、装置、システム、及び／又は製品は、1つ又は複数のデータベース所有者(本明細書においては、パートナーとも呼ばれる)と連携する。データベース所有者は、自分の登録ユーザ(たとえば、それらのデータベース所有者のユーザ)にインターネットサービスを提供し、それらの登録ユーザに関する人口統計情報を(たとえば、ユーザアカウントレコード内に)格納する。この取り組みの一環として、データベース所有者は、コンテンツ及び／又は広告などのメディアへの人口統計ベースの露出を測定する目的で自分の登録ユーザの人口統計情報を視聴者測定エンティティに提供することに同意する。データベース所有者の登録ユーザとのプライバシー合意に違反することを防止するために、本明細書において開示されている例は、クッキーマッピング技術を採用する。すなわち、データベース所有者は、自分の登録ユーザクッキー(すなわち、データベース所有者が自分の登録ユーザに割り当てているパートナークッキー)の、同じ登録ユーザに視聴者測定エンティティが割り当てているクッキー(すなわち、視聴者測定エンティティ(A ME)クッキー)へのマッピングを保持することができる。この方法においては、視聴者測定エンティティは、A MEクッキーに基づいて登録ユーザのインプレッションをログに記録し、完全な又は部分的なA MEクッキーベースのインプレッションログをデータベース所有者へ送信することができる。そしてデータベース所有者は、自分のパートナー／A MEクッキーマップに基づいて、自分の登録ユーザをA MEクッキーベースのインプレッションにマッチさせることができる。次いでデータベース所有者は、マッチしている登録ユーザに関する人口統計情報を、対応するインプレッションログに関連付けるために、それらのマッチを使用することができる。次いでデータベース所有者は、あらゆる識別データ(すなわち、パートナークッキーデータ)を人口統計ベースのインプレッションログから除去し、その人口統計ベースのインプレッションログを視聴者測定エンティティに提供することができ、データベース所有者の登録ユーザの識別情報が視聴者測定エンティティに明かされることはない。したがって、本明細書において開示されている例示的な技術は、視聴者測定エンティティと提携しているデータベース所有者の登録ユーザのプライバシーを危うくすることなく、視聴者の人口統計に基づいてインプレッションを追跡把握するために実施することができる。

30

40

50

【0015】

[0034]データベース所有者（たとえば、Facebook）は、自分がクライアントデバイス（たとえば、コンピュータ）上に設定したクッキーにアクセスし、それによって、自分の内部レコード（たとえば、ユーザアカウントレコード）に基づいてクライアントを識別することができる。クライアントデバイスの識別は、典型的な視聴者測定パネルに存在する人々の数量をはるかに超える登録ユーザの膨大なデータベースを参照して行われるため、このプロセスは、きわめて正確な、信頼できる、詳細なデータを作成するために使用することができる。

【0016】

[0035]視聴者測定エンティティは、データ収集プロセスの第1の行程に留まっている（すなわち、インプレッションをログに記録するためのクライアントデバイスからのタグ命令によって生成されたタグ要求を受信している）ため、データベース所有者が、自分の加入者のうちで視聴者測定エンティティがインプレッションをログに記録した加入者たちに対応する人口統計情報を提供する能力を危うくすることなく、ログに記録されているメディアアクセスのソース、並びに、メディア（たとえば、コンテンツ、ウェブページ、広告、及び／又はその他のタイプのメディア）そのものの識別情報をデータベース所有者から見えなくすること（それによって、メディアソースのプライバシーを保護すること）ができる。

【0017】

[0036]本明細書において開示されている例示的な方法、装置、及び／又は製品は、インターネット上のさまざまなデータベース（たとえば、さまざまなウェブサイト所有者、さまざまなサービスプロバイダなど）にわたって分散されている人口統計情報を使用して、ウェブページ、広告、及び／又はその他のタイプのメディアへのインプレッション又は露出を特定するために使用することができる。本明細書において開示されている例示的な方法、装置、及び／又は製品は、人口統計をメディアインプレッションにさらに正確に相関付けることを可能にするだけでなく、パネルのサイズ及び構成を、レーティングエンティティのパネルに参加している（及び／又は参加することに前向きである）人々の枠を超えて、Facebook、Twitter、Googleなどのソーシャルメディアサイトのデータベースなどのその他のインターネットデータベースに登録されている人々へ効果的に拡張することを行う。この拡張は、視聴者レーティングエンティティのメディアタグ付け能力と、ソーシャルメディア及びその他のウェブサイトなど、レーティングエンティティ以外のデータベースの使用とを効果的に活用して、膨大で、人口統計的に正確なパネルを作成し、その結果、ウェブページ、広告、任意のタイプのコンテンツ、及び／又は番組などのインターネットメディアへの露出の正確で、信頼できる測定がもたらされる。

【0018】

[0037]伝統的に、視聴者測定エンティティ（本明細書においては「レーティングエンティティ」とも呼ばれる）は、登録されているパネルメンバーに基づいて、広告及びメディア番組編成のための人口統計範囲を特定する。すなわち、視聴者測定エンティティは、モニタされることに同意する人々をパネルに登録する。登録の最中に、視聴者測定エンティティは、登録を行っている人々から人口統計情報を受信し、それによって、それらのパネリストへのメディア（たとえば、コンテンツ及び／又は広告）の露出と、さまざまな人口統計市場との間において、その後の相関関係を形成することができる。視聴者測定エンティティが、人口統計ベースの視聴者測定値を収集する上で自分自身のパネルメンバーデータのみ依存する従来の技術とは異なり、本明細書において開示されている例示的な方法、装置、及び／又は製品は、視聴者測定エンティティが、ユーザ登録モデルに基づいて運営しているその他のエンティティから人口統計情報を入手できるようにする。本明細書において使用される際には、ユーザ登録モデルとは、ユーザが、ユーザアカウントを作成して自分自身に関する人口統計関連情報を提供することによって、それらのエンティティのサービスに加入するモデルである。データベース所有者の登録ユーザに

10

20

30

40

50

関連付けられているそのような人口統計情報を入手することによって、視聴者測定エンティティは、外部ソース（たとえば、データベース所有者）からの実質的に信頼できる人口統計情報を用いて自分のパネルデータを拡張又は補完し、ひいては、自分の人口統計ベースの視聴者測定の範囲、正確さ、及び／又は完全性を拡張することができる。このようなアクセスによって、視聴者測定エンティティは、これが行われていなければ視聴者測定パネルに参加していなかったであろう人々をモニタすることもできる。

【0019】

[0038]一群の個人の人口統計を識別するデータベースを有するいかなるエンティティも、視聴者測定エンティティと連携することができる。そのようなエンティティは、本明細書においては「データベース所有者」と呼ばれ、Facebook、Google、Yahoo!、MSN、Twitter、Apple iTunes、Experianなどのエンティティを含む。そのようなデータベース所有者は、たとえば、オンラインウェブサービスプロバイダである場合がある。たとえば、データベース所有者は、ソーシャルネットワークサイト（たとえば、Facebook、Twitter、MySpaceなど）、マルチサービスサイト（たとえば、Yahoo!、Google、Exprianなど）、オンライン小売業者サイト（たとえば、Amazon.com、Buy.comなど）、及び／又は、それらのカテゴリーのうちのいずれにも該当しないか、若しくはそれらのカテゴリーのうちの1つ若しくは複数に該当するかにかかわらず、ユーザ登録レコードを保持するその他の任意のウェブサービスのサイトである場合がある。

【0020】

[0039]本明細書において開示されている例示的な方法、装置、及び／又は製品は、視聴者測定エンティティ、レーティングエンティティ、並びに／又は、コンテンツ、広告、及び／若しくはその他の任意の（1つ又は複数の）タイプのメディアへの視聴者の露出を測定又は追跡把握することに関心があるその他の任意のエンティティによって実施することができる。

【0021】

[0040]測定された視聴率が正しい人口統計に正確に帰する可能性を高めるために、本明細書において開示されている例示的な方法、装置、及び／又は製品は、視聴者測定エンティティのレコード内で見つかった人口統計情報、並びに、アカウントを有するユーザのレコード又はプロフィールを保持する1つ又は複数のデータベース所有者（たとえば、ウェブサービスプロバイダ）において見つかった人口統計情報を使用する。このように、例示的な方法、装置、及び／又は製品を使用して、レーティングエンティティ（たとえば、メディア露出測定値及び／又は人口統計を収集する、アメリカ合衆国イリノイ州ショウンバーグのThe Nielsen Companyなどの視聴者測定会社）によって保持されている人口統計情報を、1つ又は複数の異なるデータベース所有者（たとえば、ウェブサービスプロバイダ）からの人口統計情報で補完することができる。

【0022】

[0041]異種のデータソースからの人口統計情報（たとえば、視聴者測定会社のパネルからの高品質の人口統計情報、及び／又はウェブサービスプロバイダの登録ユーザデータ）を使用する結果、オンライン及び／又はオフラインの広告キャンペーンに関する指標を報告する有効性が改善する。本明細書において開示されている例は、オンライン登録データを使用して、ユーザの人口統計を識別する。このような例はまた、サーバインプレッションカウント、タグ付け（ビーコニングとも呼ばれる）、及び／又はその他の技術を使用して、それらのユーザに帰することができる広告インプレッション及び／又はメディアインプレッションの数量を追跡把握する。ソーシャルネットワーキングサイト及びマルチサービスプロバイダなどのオンラインウェブサービスプロバイダ（本明細書においては、総称して、及び個々にオンラインデータベース所有者と呼ばれる）は、ユーザ登録プロセスを介して収集された詳細な人口統計情報（たとえば、年齢、性別、地理的場所、人種、収入レベル、教育レベル、宗教など）を保持する。インプレッションは、対応するメディア（たとえば、コンテンツ及び／又は広告）に露出された世帯又は個人に対応する。したがっ

て、インプレッションは、広告及び／若しくはコンテンツ、又は広告若しくはコンテンツのグループに露出された世帯又は個人を表す。インターネット広告においては、インプレッションの数量、又はインプレッションカウントとは、広告又は広告キャンペーンがウェブの人々によってアクセスされた合計回数である（例としては、たとえばポップアッププロッカーによって減らされたアクセス回数、及び／又は、たとえばローカルキャッシュメモリからの取り出しによって増やされたアクセス回数が含まれる）。

【0023】

【0042】本明細書において開示されている例示的な方法、装置、及び／又は製品を使用して生成される例示的なインプレッションレポートは、TV GRP及びオンラインGRPを横に並べた様式で報告するために使用することができる。たとえば、広告主は、TV広

10

【0024】

【0043】本明細書においては、広告、広告露出、及び／又は広告インプレッションに関連して、例が開示されているが、そのような例は、追加として、又は代替として、広告に加えて、又は広告の代わりに、その他のタイプのメディアに関連して実施することができる。すなわち、本明細書において広告に関連して開示されているプロセス、装置、システム、オペレーション、構造、データ、及び／又は情報は、その他のタイプのメディア、たとえばコンテンツなどとともに、同様に使用すること、及び／又は使用のために実装することが可能である。本明細書において使用される際には、「メディア」は、コンテンツ（た

20

【図面の簡単な説明】

【0025】

【図1】【0005】 分散された人口統計情報を使用して広告インプレッション及び／又はメディアインプレッションを特定するための例示的なシステムを示す図である。

【図2】【0006】 ユーザが（1つ又は複数の）データベース所有者の（1つ又は複数の）ウェブサイトにログインしたことに応答して、視聴者測定エンティティ及び（1つ又は複数の）データベース所有者にクッキーを報告する例示的な方法を示す図である。

【図3】【0007】 ウェブブラウザが図1の例示的なシステムのインプレッションモニタにインプレッションを報告することができる例示的な方法を示す図である。

30

【図4】【0008】 1つ又は複数のデータベース所有者に登録されているユーザの人口統計にインプレッションに関連付けるために使用することができる例示的な装置を示す図である。

【図5】【0009】 視聴者測定エンティティに関連付けられているユーザ識別子を、インターネットサービスデータベース所有者に登録されているユーザのユーザ識別子にマップするために、インターネットサービスデータベース所有者によって使用することができる例示的なパートナークッキーマップである。

【図6】【0010】 モニタされている視聴者メンバーのユーザ識別子にインプレッションを相関付けるために、図1の例示的なシステムのインプレッションモニタシステムによって生成された例示的なインプレッションテーブルである。

40

【図7】【0011】 インターネットサービスデータベース所有者に登録されているユーザのユーザ識別子にインプレッションを相関付けるために、インターネットサービスデータベース所有者によって生成された例示的なパートナーベースのインプレッションテーブルである。

【図8】【0012】 モニタされているユーザに関連付けられているインプレッションの数量を示す例示的なインプレッションテーブルである。

【図9】【0013】 データベース所有者によって生成された例示的なキャンペーンレベル／年齢／性別／インプレッション構成テーブルである。

【図10】【0014】 ログインイベント及びユーザクッキーをデータベース所有者に報告す

50

るために実行することができる例示的なマシン可読命令を表すフロー図である。

【図 1 1】[0015] データベース所有者に登録されているユーザのユーザ識別子に視聴者測定エンティティ（AME）クッキー識別子をマップするために実行することができる例示的なマシン可読命令を表すフロー図である。

【図 1 2】[0016] インプレッションをログに記録するために実行することができる例示的なマシン可読命令を表すフロー図である。

【図 1 3】[0017] 人口統計ベースのインプレッションレポートを生成するために実行することができる例示的なマシン可読命令を表すフロー図である。

【図 1 4】[0018] 図 1～図 3 のインプレッションモニタを実施するために使用することができる例示的な装置を示す図である。

【図 1 5】[0019] 図 2 のクッキーレポートを実施するために使用することができる例示的な装置を示す図である。

【図 1 6】[0020] 調整係数を生成するための例示的なシステムを示すブロック図である。

【図 1 7】[0021] 図 1 6 のシステムによって生成することができる例示的なテーブルである。

【図 1 8】[0021] 図 1 6 のシステムによって生成することができる例示的なテーブルである。

【図 1 9】[0021] 図 1 6 のシステムによって生成することができる例示的なテーブルである。

【図 2 0】[0021] 図 1 6 のシステムによって生成することができる例示的なテーブルである。

【図 2 1】[0021] 図 1 6 のシステムによって生成することができる例示的なテーブルである。

【図 2 2】[0021] 図 1 6 のシステムによって生成することができる例示的なテーブルである。

【図 2 3】[0021] 図 1 6 のシステムによって生成することができる例示的なテーブルである。

【図 2 4】[0021] 図 1 6 のシステムによって生成することができる例示的なテーブルである。

【図 2 5】[0021] 図 1 6 のシステムによって生成することができる例示的なテーブルである。

【図 2 6】[0022] （1つ又は複数の）調整係数を生成するために実行することができる例示的なマシン可読命令を表すフロー図である。

【図 2 7】[0022] （1つ又は複数の）調整係数を生成するために実行することができる例示的なマシン可読命令を表すフロー図である。

【図 2 8】[0022] （1つ又は複数の）調整係数を生成するために実行することができる例示的なマシン可読命令を表すフロー図である。

【図 2 9】[0023] 図 1、図 2、図 3、図 4、及び／又は図 1 6 の例示的な装置及びシステムを実施する目的で図 1 0～図 1 3 及び／又は図 2 6～図 2 8 の例示的な命令を実行するために使用することができる例示的なプロセッサシステムを示す図である。

【発明を実施するための形態】

【0026】

[0044] 次いで図 1 を参照すると、例示的なシステム 100 が示されている。示されている例においては、システム 100 は、インプレッションモニタシステム 102 を含み、インプレッションモニタシステム 102 は、視聴者測定エンティティ 103 によって所有及び／又は運営されることが可能である。示されている例においては、インプレッションモニタシステム 102 は、1つ又は複数のデータベース所有者と連携して機能し、それらのデータベース所有者のうちの 2 つが、パートナー A データベース所有者 104 a、及びパートナー B データベース所有者 104 b として示されており、データベース所有者 10

10

20

30

40

50

4 a 及び 1 0 4 b によって収集された分散された人口統計情報を使用して、インプレッションレポート 1 0 6 a 及び 1 0 6 b が生成される。示されている例においては、インプレッションレポート 1 0 6 a 及び 1 0 6 b は、識別された広告又はコンテンツに露出された人口統計セグメント、集団、又はグループを示している。「分散された人口統計情報」とは、本明細書においては、オンラインウェブサービスプロバイダなどのデータベース所有者から得られる人口統計情報を指すために使用される。示されている例においては、インプレッションモニタシステム 1 0 2 は、たとえば、クライアントデバイス 1 0 8 上に設定されている視聴者測定エンティティ（A M E）クッキーを使用して、それらのクライアントデバイス 1 0 8 からインプレッションを収集してログに記録するために、視聴者測定エンティティによって所有及び／又は運営されることが可能である。本明細書において示され説明されている例においては、A M E クッキー（たとえば、図 2 の A M E クッキー 2 0 8）は、視聴者測定エンティティ 1 0 3 に連絡を取ったことに応答して、モニタリング命令又はタグ命令を実行した後に、クライアントデバイス 1 0 8 のうちのすべてが、視聴者測定エンティティ 1 0 3 の視聴者メンバーパネルに関連付けられているか、クライアントデバイス 1 0 8 のうちの一部が、視聴者測定エンティティ 1 0 3 の視聴者メンバーパネルに関連付けられているか、又はクライアントデバイス 1 0 8 のうちのいずれも、視聴者測定エンティティ 1 0 3 の視聴者メンバーパネルに関連付けられていないかにかかわらず、クライアントデバイス 1 0 8 内に設定される。すなわち、A M E クッキーをクライアントデバイス 1 0 8 内に設定することによって、視聴者測定エンティティ 1 0 3 は、広告インプレッション及び／又はメディアインプレッションが、パネリストに帰することができるか、又は非パネリストに帰することができるかにかかわらず、それらの広告インプレッション及び／又はメディアインプレッションをログに記録することができる。図 1 の示されている例においては、クライアントデバイス 1 0 8 は、固定式コンピュータ若しくはポータブルコンピュータ、ハンドヘルドコンピューティングデバイス（たとえば、i P a d（登録商標）などのタブレット）、スマートフォン、インターネット機器、及び／又は、インターネットに接続することができ、メディアを提示することができるその他の任意のタイプのデバイスとすることができる。

【0027】

[0045] 示されている例においては、メディアプロバイダ及び／又は広告主は、ウェブサイト及び／又はオンラインテレビジョンサービス（たとえば、ウェブベースの T V、インターネットプロトコル T V（I P T V）など）にアクセスするユーザに、インターネットを介して広告 1 1 0 を分散させる。示されている例においては、広告 1 1 0 は、個々の独立した広告とすること、及び／又は、1 つ若しくは複数の広告キャンペーンの一部とすることができる。示されている例の広告は、関連付けられている広告キャンペーン（たとえば、もしもあるならば、キャンペーン I D）、クリエイティブタイプ I D（たとえば、フラッシュベースの広告、バナー広告、リッチタイプの広告などを識別する）、ソース I D（たとえば、広告発行者を識別する）、及び／又は配置 I D（たとえば、スクリーン上における広告の物理的な配置を識別する）を識別する識別コード（すなわち、データ）とともにエンコードされる。示されている例の広告 1 1 0 はまた、たとえばインターネットを介して広告 1 1 0 にアクセスするウェブブラウザによって実行される、コンピュータによって実行可能なモニタリング命令（たとえば、J a v a（登録商標、以下同じ）、ジャバスクリプト、又はその他の任意のコンピュータ言語若しくはスクリプト）を含むようにタグ付け又はエンコードされる。図 1 の示されている例においては、広告 1 1 0 は、クライアントデバイス 1 0 8 を介して視聴者メンバーに提示される。コンピュータによって実行可能なモニタリング命令は、追加として、又は代替として、モニタされるメディアに関連付けることができる。したがって本開示は、広告を追跡把握することに関して論じる場合が多いが、いかなる特定のタイプのメディアを追跡把握することにも限定されない。それどころか、本開示は、ネットワーク内のいかなるタイプ又は形式のメディア（たとえば、コンテンツ及び／又は広告）を追跡把握することにも使用することができる。追跡把握されているメディアのタイプにかかわらず、モニタリング命令が実行されると、ウェブブラ

10

20

30

40

50

ウザは、（１つ又は複数の）インプレッション要求１１２（たとえば、本明細書においてはタグ要求１１２と呼ばれる）を指定のサーバ（たとえば、視聴者測定エンティティ）へ送信する。（１つ又は複数の）タグ要求１１２は、ＨＴＴＰ要求を使用して実施することができる。しかし、ＨＴＴＰ要求は伝統的に、ダウンロードされるウェブページ又はその他のリソースを識別する一方で、示されている例の（１つ又は複数の）タグ要求１１２は、視聴者測定情報（たとえば、広告キャンペーン識別表示、メディア識別子、コンテンツ識別子、及び／又はユーザ識別情報）を自分のペイロードとして含む。（１つ又は複数の）タグ要求１１２が導かれる先のサーバ（たとえば、インプレッションモニタシステム１０２）は、その（１つ又は複数の）タグ要求１１２によってもたらされる視聴者測定データをインプレッションとして（たとえば、それらのモニタリング命令にタグ付けされているメディアの性質に応じて、広告インプレッション及び／又はメディアインプレッションとして）ログに記録するようにプログラムされている。露出測定値を収集してログに記録するために、インプレッションモニタシステム１０２は、ＡＭＥインプレッションストア１１４を含む。例示的なインプレッションロギングプロセスについては、以降で図３に関連して詳細に説明する。

10

【００２８】

[0046]いくつかの例においては、そのようなタグ命令にタグ付けされている広告は、たとえば、ウェブページ、ストリーミングビデオ、ストリーミングオーディオ、ＩＰＴＶコンテンツなど、インターネットベースのメディアとともに分散される。上述のように、本明細書において開示されている方法、装置、システム、及び／又は製品は、広告のモニタリングに限定されるものではなく、任意のタイプのコンテンツのモニタリング（たとえば、ウェブページ、映画、テレビジョン番組など）に適合することができる。そのようなモニタリング命令、タグ命令、及び／又はビーコン命令を実施するために使用することができる例示的な技術が、Ｂｌｕｍｅｎａｕの米国特許第６，１０８，６３７号に開示されており、この米国特許は、参照によってその全体が本明細書に組み込まれている。

20

【００２９】

[0047]図１の示されている例においては、インプレッションモニタシステム１０２は、クライアントデバイス１０８が、タグ付けされている広告（たとえば、広告１１０）、及び／又はその他のタグ付けされているメディアを提示したときにＡＭＥクッキー（たとえば、汎用一意識別子（ＵＵＩＤ）の名前－値のペア）を使用してインプレッションに関連付けられたユーザを追跡把握する。インターネットセキュリティプロトコルに起因して、インプレッションモニタシステム１０２は、自分のドメインに設定されたクッキー（たとえば、ＡＭＥクッキー）を収集することしかできない。したがって、たとえば、インプレッションモニタシステム１０２は、「Ｎｉｅｌｓｅｎ．ｃｏｍ」ドメイン内で機能している場合には、Ｎｉｅｌｓｅｎ．ｃｏｍドメイン内で設定されたクッキーを収集することしかできない。したがって、インプレッションモニタシステム１０２は、クライアントデバイス１０８から（１つ又は複数の）タグ要求１１２を受信した場合には、たとえばＮｉｅｌｓｅｎ．ｃｏｍドメイン用にそのクライアントデバイス上に設定されたＡＭＥクッキーにしかアクセスできず、そのドメイン以外で（たとえば、Ｎｉｅｌｓｅｎ．ｃｏｍドメイン以外で）設定されたクッキーにはアクセスできない。

30

40

【００３０】

[0048]クッキー情報を収集することに関連するドメインの制限を克服するために、インプレッションモニタリングシステム１０２は、クライアントデバイス１０８のユーザのうちで、パートナーＡデータベース所有者１０４ａ及びパートナーＢデータベース所有者１０４ｂのうちの一方又は両方の登録ユーザであるユーザのインプレッションをモニタする。クライアントデバイス１０８のうちの１つのクライアントデバイスのユーザが、データベース所有者１０４ａ又は１０４ｂのうちの一方のサービスにログインした場合には、クライアントデバイス１０８は、インプレッションモニタシステム１０２との初期設定（ＩＮＩＴ）ＡＭＥクッキーメッセージのやり取り１１６を実行するためにインプレッションモニタシステム１０２へ導かれて、そのサービスを提供しているデータベース所有者へロ

50

グイン報告メッセージ118を送信する。たとえば、以降で図2に関連してさらに詳細に説明するように、ユーザがパートナーAデータベース所有者104aのサービスにログインした場合には、INIT AMEクッキーメッセージのやり取り116によって、パートナーAデータベース所有者104aのサービスにログインしたユーザに関するインプレッションモニタシステム102のドメインに基づいて、クライアントデバイス108内にAMEクッキーが設定される。加えて、パートナーAデータベース所有者104aへ送信されるログイン報告メッセージ118は、クライアントデバイス108に関する同じAMEクッキーと、同じクライアントデバイス108に関してパートナーAデータベース所有者104aによって設定されたパートナーAクッキーとを含む。示されている例においては、パートナーAデータベース所有者104aは、クライアントデバイス108がパートナーAデータベース所有者104aのウェブページを訪れたとき、及び／又は、ユーザがパートナーAデータベース所有者104aのログインページ（たとえば、図2のログインウェブページ204）を介してパートナーAデータベース所有者104aのサービスにログインしたときに、クライアントデバイス108内にパートナーAクッキーを設定する。示されている例においては、AMEクッキーは、パートナーAクッキーのドメイン（たとえば、ルートドメイン）以外にある。ログイン報告メッセージ118は、AMEクッキーを含んでいるため、それによって、パートナーAデータベース所有者104aは、自分のパートナーAクッキーをクライアントデバイス108のユーザに関するAMEクッキーにマップすることができる。INIT AMEクッキーメッセージのやり取り116は、指定されたAMEクッキーに関連付けられているユーザがパートナーAデータベース所有者104aにいつログインしたかを示すログインタイムスタンプを含む。AMEクッキーが、以前にそのクライアントに関して設定されていた場合には、その以前のAMEクッキーが、そのクライアントから除去されるまで、そのクライアント上にもはや存在しなくなるまで、及び／又は有効期限が切れるまで、新たなAMEクッキーは設定されない。これらのプロセスについては、以降で図2に関連してさらに詳細に説明する。

【0031】

[0049]その後、インプレッションモニタシステム102は、クライアントデバイス108を介して提示された広告及び／又はコンテンツに基づく（1つ又は複数の）タグ要求112を受信し、それらの提示された広告及び／又はコンテンツに基づくインプレッションを、以降で図3に関連して詳細に説明するように、クライアントデバイス108のそれぞれのAMEクッキーに関連付けてログに記録する。図1の示されている例においては、インプレッションモニタシステム102は、ログに記録されたインプレッションをAMEインプレッションストア114内に格納し、その後、AMEインプレッションストア114からのログに記録されたインプレッションのうちのいくつか又はすべてを含むAMEインプレッションログ122をパートナーデータベース所有者104a及び104bへ送信する。

【0032】

[0050]パートナーデータベース所有者104a～bのそれぞれは、その後、各自のAMEクッキー／パートナークッキーマッピングを使用して、パートナークッキーに基づいて識別されたクライアントデバイス108のユーザの人口統計を、AMEインプレッションログ122内のAMEクッキーに基づいてログに記録されたインプレッションにマッチさせることができる。例示的な人口統計のマッチング及び報告については、以降で図4に関連してさらに詳細に説明する。視聴者測定エンティティー103は、自分にタグ要求を送信するあらゆるクライアント（すなわち、非パネリストを含む）上にAMEクッキーを設定するため、パートナークッキーへのAMEクッキーのマップは、パネリストに限定されず、それどころか、タグ付けされているメディアにアクセスするあらゆるクライアントに及ぶ。結果として、視聴者測定エンティティー103は、AMEクッキーを有する非パネリストがあたかも視聴者測定エンティティー103のパネリストであるかのようにパートナーのデータを活用し、それによって、パネルのサイズを効果的に大きくすることができる。いくつかの例においては、視聴者測定エンティティーのパネルは設けられない。

【0033】

[0051]図2は、インプレッションモニタシステム102を用いてクッキーを設定し、ユーザがデータベース所有者（たとえば、パートナーAデータベース所有者104a、及び／又はパートナーBデータベース所有者104b）のウェブサイトにログインしたことに応答して、それらのクッキーをデータベース所有者に報告する例示的な方法を示している。図1のクライアントデバイス108のうちの1つが、図2において示されており、このクライアントデバイス108は、クッキーレポータ202を備えており、クッキーレポータ202は、クライアントデバイス108上のログインイベントをモニタして、クッキーをインプレッションモニタシステム102並びにデータベース所有者104a及び104bへ送信するように構成されている。図2の示されている例においては、クッキーレポータ202は、インプレッションモニタシステム102とのINIT AMEクッキーメッセージのやり取り116を実行して、ログイン報告メッセージ118をパートナーAデータベース所有者104aへ送信するものとして示されている。

10

【0034】

[0052]図2の示されている例においては、クッキーレポータ202は、ウェブブラウザによって実行されるコンピュータ実行可能命令（たとえば、Java、ジャバスクリプト、又はその他の任意のコンピュータ言語若しくはスクリプト）を使用して実施される。また、図2の示されている例においては、クッキーレポータ202は、インプレッションモニタシステム102を所有及び／若しくは運営する視聴者測定エンティティによって、直接又は間接的に、クライアントに提供される。たとえば、クッキーレポータ202は、AME103からデータベース所有者に提供することができ、その後、クライアントデバイス108がパートナーAデータベース所有者104a（又はパートナーBデータベース所有者104b、又はその他の任意のパートナーデータベース所有者）のログインウェブページ204を要求したことに応答して、そのログインウェブページを提供するサーバからクライアントデバイス108にダウンロードすることができる。

20

【0035】

[0053]クライアントデバイス108のウェブブラウザは、ログインページ204に関連付けられているログインイベントを探してモニタを行うためにクッキーレポータ202を実行することができる。ユーザがログインページ204を介してパートナーAデータベース所有者104aのサービスにログインした場合には、クッキーレポータ202は、要求206をインプレッションモニタシステム102へ送信することによって、INIT AMEメッセージのやり取り116を開始する。図2の示されている例においては、要求206は、ダミーの要求である。なぜなら、その目的が、ウェブページを実際に取り出すことではなく、むしろ、クライアントデバイス108に関するAMEクッキー208をインプレッションモニタシステム102に生成させることにあるためである（AMEクッキーが、そのクライアントに関してまだ設定されていない、及び／又はそのクライアント上に存在しないと想定する）。AMEクッキー208は、クライアントデバイス108を一意に識別する。しかし、そのクライアントデバイス108は、AME103のパネリストに関連付けられていない可能性があるため、そのユーザの識別情報及び／又は特徴は、知られていない可能性がある。その後、インプレッションモニタシステム102は、AMEクッキー208を使用して、以降で図3に関連して説明するように、クライアントデバイス108がAME103のパネリストであるかどうかにかかわらず、クライアントデバイス108に関連付けられているインプレッションを追跡把握するか、又はログに記録する。開示されている例は、たとえクライアントが登録されていない（すなわち、AME103のパネリストになることに同意していない）可能性があるとしても、それらのクライアントをパネリストとしてモニタするため、そのようなクライアントは、本明細書においては疑似パネリストと呼ぶことができる。

30

40

【0036】

[0054]示されている例の要求206は、ヘッダフィールド210と、クッキーフィールド212と、ペイロードフィールド214とを含むHTTP要求を使用して実施される。

50

ヘッダフィールド 210 は、HTTP 要求に関連付けられている標準的なプロトコル情報を格納する。クライアントデバイス 108 が、まだ AME クッキーを設定されていない場合には、AME クッキー 208 を作成してそのクライアントデバイス 108 内に設定する必要があるということをインプレッションモニタシステム 102 に示すために、クッキーフィールド 212 は空である。AME クッキー 208 を含んでいない要求 206 を受信したことに応答して、インプレッションモニタシステム 102 は、AME クッキー 208 を生成し、その AME クッキー 208 を図 1 の INIT AME クッキーメッセージのやり取り 116 の一環として応答メッセージ 216 のクッキーフィールド 218 内に含めてクライアントデバイス 108 へ送信し、それによって、その AME クッキー 208 をクライアントデバイス 108 内に設定する。

10

【0037】

[0055] 図 2 の示されている例においては、インプレッションモニタシステム 102 はまた、ユーザがログインページ 204 にログインした時刻を示すログインタイムスタンプ 220 を生成し、ログインタイムスタンプ 220 を応答 216 のペイロードフィールド 222 内に含めてクライアントデバイス 208 へ送信する。示されている例においては、ログインタイムスタンプ 220 は、（たとえば、クライアントデバイス 108 ではなく）インプレッションモニタシステム 102 によって生成され、それによって、すべてのクライアントデバイス 108 からのすべてのログインイベントが、同じクロック（たとえば、インプレッションモニタシステム 102 のクロック）に基づいてタイムスタンプを付けられる。この方法においては、ログイン時刻は、互いの間において時間の差を有する可能性があるそれぞれのクライアントデバイス 108 のクロックに基づいて歪められる又は相殺されることはない。いくつかの例においては、タイムスタンプ 220 を応答 216 のペイロード 222 から省略することができ、その代わりに、インプレッションモニタシステム 102 は、タイムスタンプに基づくログイン時刻を応答 216 のヘッダフィールド 224 内に示すことができる。いくつかの例においては、応答 216 は、クッキーレポータ 202 が AME クッキー 208 を送信すべきであるパートナー A データベース所有者 104 a の URL 226 を含む HTTP 302 リダイレクト応答である。インプレッションモニタシステム 102 は、そのリダイレクト応答にその URL を投入する。

20

【0038】

[0056] 図 2 の示されている例においては、応答 216 を受信した後に、クッキーレポータ 202 は、ログイン報告メッセージ 118 を生成して、パートナー A データベース所有者 104 a へ送信する。たとえば、示されている例のクッキーレポータ 202 は、ログインページ 204 によって示された URL へログイン報告メッセージ 118 を送信する。或いは、応答 216 が HTTP 302 リダイレクトであり、URL 226 を含む場合には、クッキーレポータ 202 は、その URL 226 を使用して、ログイン報告メッセージ 118 をパートナー A データベース所有者 104 a へ送信する。図 2 の示されている例においては、ログイン報告メッセージ 118 は、クッキーフィールド 230 内にパートナー A クッキー 228 を含む。パートナー A クッキー 228 は、パートナー A データベース所有者 104 a のためにクライアントデバイス 108 を一意に識別する。また、示されている例においては、クッキーレポータ 202 は、AME クッキー 208 及びログインタイムスタンプ 220 をログイン報告メッセージ 118 のペイロードフィールド 232 内に含めて送信する。したがって、図 2 の示されている例においては、AME クッキー 208 が、パートナー A データベース所有者 104 a のドメイン内に設定されなかったという事実、及び、したがって通常のクッキーとしてサードパーティーへ送信することができなかったという事実を克服するために、AME クッキー 208 は、ログイン報告メッセージ 118 内の正規のデータ（たとえば、データパラメータ）又はペイロードとしてパートナー A データベース所有者 104 a へ送信される。示されている例においては、AME クッキー 208 は、パートナー A クッキー 228 のドメイン（たとえば、Facebook.com ルートドメイン）以外の別のドメイン（たとえば、Nielsen.com ルートドメイン）に対応する。図 2 において示されている例示的なプロセスを使用することによって、有利

30

40

50

なことに、クッキーデータを別々のドメインにわたって送信することが可能になり、これをその他の形で既知のクッキー通信技術を使用して行うことは不可能であろう。データベース所有者104aは、AMEクッキー208をパートナーAクッキー228に関連付けて受信し、それによって、AMEクッキー／パートナークッキーマップ（たとえば、パートナークッキーマップ236）内にエントリーを作成する。

【0039】

[0057]ログイン報告メッセージ118は、図2の例においては、パートナーAクッキー228を含むものとして示されているが、パートナーAデータベース所有者104aがパートナーAクッキー228をクライアントデバイス108内にまだ設定していない場合には、ログイン報告メッセージ118内においてクッキーフィールド230は空である。この方法においては、空のクッキーフィールド230は、パートナーAクッキー228をクライアントデバイス108内に設定するようにパートナーAデータベース所有者104aに促す。そのような場合においては、パートナーAデータベース所有者104aは、パートナーAクッキー228を含む応答メッセージ（図示せず）をクライアントデバイス108に送信し、そのパートナーAクッキー228をAMEクッキー208に関連付けて記録する。

【0040】

[0058]いくつかの例においては、パートナーAデータベース所有者104aは、自分の登録ユーザのオンライン活動を追跡把握するために、パートナーAクッキー228を使用する。たとえば、パートナーAデータベース所有者104aは、自分がホストしているウェブページへのユーザの訪問を追跡把握すること、それらのウェブページをユーザの好みに従って表示することなどを行うことができる。パートナーAクッキー228は、「ドメイン固有の」ユーザ活動を収集するために使用することもできる。本明細書において使用される際には、「ドメイン固有の」ユーザ活動とは、単一のエンティティの（1つ又は複数の）ドメイン内で関連付けられているユーザのインターネット活動である。ドメイン固有のユーザ活動は、「ドメイン内活動」と呼ぶこともできる。いくつかの例においては、パートナーAデータベース所有者104aは、ドメイン内活動、たとえば、それぞれの登録ユーザによって訪問されたウェブページ（たとえば、その他のソーシャルネットワークメンバーのページなど、ソーシャルネットワークドメインのウェブページ、若しくはその他のドメイン内ページ）の数、及び／又は、アクセスのために使用されるモバイルデバイス（たとえば、スマートフォン、タブレットなど）若しくは固定式デバイス（たとえば、デスクトップコンピュータ）などのデバイスのタイプを収集する。パートナーAデータベース所有者104aは、アカウントの特徴、たとえば、それぞれの登録ユーザによって保持されている社会的なつながり（たとえば、友達）の数量、それぞれの登録ユーザによって投稿された写真の数量、それぞれの登録ユーザによって送信若しくは受信されたメッセージの数量、及び／又はユーザアカウントのその他の任意の特徴などを追跡把握することもできる。

【0041】

[0059]いくつかの例においては、クッキーレポータ202は、ログインページ204を紹介したユーザのログインが成功したことをパートナーAデータベース所有者104aが示した後にのみ、要求206をインプレッションモニタシステム102へ送信し、ログイン報告メッセージ118をパートナーAデータベース所有者104aへ送信するように構成されている。この方法においては、もしもログインが成功しない場合に、要求206及びログイン報告メッセージ118が不必要に実行されることはない。図2の示されている例においては、ログインが成功すれば必ず、パートナーAデータベース所有者104aは、ログインした登録ユーザの正しい人口統計をパートナーAクッキー228及びAMEクッキー208に関連付けることになる。

【0042】

[0060]図2の示されている例においては、パートナーAデータベース所有者104aは、サーバ234と、パートナークッキーマップ236と、ユーザアカウントデータベース

238とを含む。図示されていないが、視聴者測定エンティティ103（図1）と提携しているその他のデータベース所有者（たとえば、図1のパートナーBデータベース所有者104b）も、パートナークッキーマップ236に類似しているそれぞれのパートナークッキーマップと、ユーザアカウントデータベース238に類似しているが、もちろん、自分自身のユーザたちに関するユーザアカウントデータベースとを含む。示されている例のサーバ234は、クライアントデバイス108と通信して、たとえば、ログイン情報を受信すること、クライアントデバイス108からクッキーを受信すること、クライアントデバイス108内にクッキーを設定することなどを行う。

【0043】

[0061] パートナークッキーマップ236は、パートナークッキー（たとえば、パートナーAクッキー228）を、それぞれのAMEクッキー（たとえば、AMEクッキー208）、及びそれぞれのタイムスタンプ（たとえば、タイムスタンプ220）に関連付けて格納する。図2の示されている例においては、パートナークッキーマップ236は、パートナーAクッキー228の名前—値のペア（すなわち、「user_ID」などのパラメータ名、及びUUIDなどの値）で見つかったユニークユーザID（UUID）を、AMEクッキー208の名前—値のペアで見つかったユニークユーザIDに関連付けて格納する。加えて、パートナークッキーマップ236は、対応するユーザログインが生じた時刻を示すために、ログインタイムスタンプ220をUUIDに関連付けて格納する。手短かに図5を参照すると、パートナークッキーマップ236の例示的な一実施態様が示されており、この実施態様においては、AMEユーザID列502が、AMEクッキー（たとえば、図2のAMEクッキー208）からのUUIDを格納し、パートナーユーザID列504が、パートナークッキー（たとえば、図2のパートナーAクッキー228）からのUUIDを格納し、ログインタイムスタンプ列506が、ログインタイムスタンプ（たとえば、図2のログインタイムスタンプ220）を格納する。本明細書において開示され示されている例においては、パートナーAデータベース所有者104aは、AMEクッキー（たとえば、AMEクッキー208）に基づいてインプレッションモニタシステム102から受信されたインプレッションを、それぞれのパートナーAクッキー（たとえば、パートナーAクッキー228）によって識別されたパートナーAデータベース所有者104aの登録ユーザにマッチさせるために、パートナークッキーマップ236を使用する。この方法においては、パートナーAデータベース所有者104aは、インプレッションモニタシステム102によってログに記録された特定のインプレッションに自分の登録ユーザのうちのどのユーザに関連付けられているかを特定することができる。

【0044】

[0062] 図2に戻ると、パートナーAデータベース所有者104aは、とりわけ、自分の登録ユーザに関する人口統計情報を格納するために、ユーザアカウントデータベース238を使用する。図2の示されている例においては、そのような人口統計情報は、登録ユーザから、入会及び／若しくは登録プロセス中に、又はその後の個人情報更新プロセス中に受信される。ユーザアカウントデータベース238内に格納される人口統計情報は、たとえば、年齢、性別、関心（たとえば、音楽への関心、映画への関心、製品への関心、若しくはその他の任意のトピックに関連する関心）、パートナーAデータベース所有者104aを介してそれぞれの登録ユーザによって保持されている友達若しくは社会的なつながりの数、個人の年収、世帯の収入、住居の地理的場所、職場の地理的場所、（1つ若しくは複数の）卒業年、集団的な交友関係の数量、又はその他の任意の人口統計情報を含むことができる。パートナーAデータベース所有者104aは、自分の登録ユーザのうちのどのユーザが、ログに記録されたインプレッションのうちのどれに対応するかを、パートナークッキーマップ236に基づいて特定した後に、インプレッションモニタシステム102によってログに記録された特定のインプレッションに人口統計情報を関連付けるために、ユーザアカウントデータベース238を使用する。

【0045】

[0063] 図3は、図1の例示的なシステム100のインプレッションモニタシステム10

10

20

30

40

50

2においてインプレッションをログに記録するために使用することができる例示的なシステム300を示している。例示的なシステム300は、図1及び図2のインプレッションモニタシステム102が、クライアントデバイス（たとえば、図1及び図2の任意のクライアントデバイス108）によって実行されたウェブブラウザ302から受信されたタグ要求（たとえば、図1の（1つ又は複数の）タグ要求112）に基づいて、インプレッションを、対応するAMEクッキー（たとえば、図2のAMEクッキー208）に関連付けてログに記録することを可能にする。図3の示されている例においては、インプレッションモニタシステム102は、以降で説明するように、タグ要求112を受信する元となる任意のクライアントデバイス（たとえば、図1のクライアントデバイス108）からのインプレッションをログに記録する。インプレッションモニタシステム102は、受信されたインプレッションデータをAMEインプレッションデータストア114内で編集する。

10

【0046】

[0064]図3を詳細に参照すると、このクライアントデバイスは、図1及び図2のクライアントデバイス108のうちの任意の1つ、又は図1若しくは図2において示されていない別のデバイスである場合がある。しかし、一般性を失うことなく論考を簡潔にするために、このクライアントデバイスをクライアントデバイス108と呼ぶことにする。図示されているように、クライアントデバイス108は、インプレッションモニタシステム102へ通信を送信する。示されている例においては、クライアントデバイス108は、ウェブブラウザ302を実行し、ウェブブラウザ302は、広告発行者303から受信された（1つ又は複数の）広告110のうちの1つを表示するホストウェブサイト（たとえば、www.acme.com）へ導かれる。示されている例の広告110には、識別子情報（たとえば、キャンペーンID、クリエイティブタイプID、配置ID、発行者のソースURLなど）及びタグ命令304がタグ付けされている。タグ命令304は、クライアントデバイス108によって実行されると、そのクライアントデバイス108に、タグ命令304内で指定されているインプレッションモニタシステム102のURLアドレスへタグ要求112を送信させる。或いは、タグ命令304内で指定されているURLアドレスは、視聴者測定エンティティ103（図1）又は別のエンティティによって所有され、運営され、及び／又はアクセス可能なその他の任意のサーバへタグ要求112を導くことができる。タグ命令304は、ジャバスクリプト、又は、たとえば、Java、HTMLなどを含む、その他の任意の（1つ若しくは複数の）タイプの実行可能な（1つ若しくは複数の）命令を使用して実施することができる。ウェブページなどのタグ付けされているコンテンツ、及び／又はその他の任意のメディアは、タグ付けされている広告110と同じ方法で処理されるということに留意されたい。すなわち、いかなるタグ付けされているメディアに関しても、対応するタグ命令が、そのタグ付けされているコンテンツのダウンロードとともに受信され、そのタグ付けされているコンテンツをダウンロードしたクライアントデバイスからインプレッションモニタシステム102（又は、それらの命令によって示されるその他の任意のサーバ）へタグ要求が送信されるようにする。

20

30

【0047】

[0065]図3の示されている例においては、タグ要求112は、HTTP要求を使用して実施され、ヘッダフィールド310と、クッキーフィールド312と、ペイロードフィールド314とを含むものとして詳細に示されている。図3の示されている例においては、ウェブブラウザ302は、図2のAMEクッキー208をクッキーフィールド312内に格納し、広告キャンペーン情報316及び発行者サイトID318をペイロードフィールド314内に格納する。示されている例においては、広告キャンペーン情報316は、関連付けられている広告キャンペーン（たとえば、広告キャンペーンID）、クリエイティブタイプID（たとえば、フラッシュベースの広告、バナー広告、リッチタイプの広告などを識別する）、及び／又は配置ID（たとえば、スクリーン上における広告の物理的な配置を識別する）のうちの1つ又は複数を識別する情報を含むことができる。いくつかの例においては、メディアインプレッションをログに記録するために、広告キャンペーン情報316は、メディアを識別するメディア情報（たとえば、メディア識別子）、クリエイ

40

50

ティブID、及び／又は配置IDと置き換えられる。示されている例においては、発行者サイトID318は、広告110及び／又はコンテンツのソース（たとえば、広告発行者303及び／又はメディア発行者を識別するソースID）を識別する。

【0048】

[0066]示されている例においては、タグ要求112を受信したことに応答して、インプレッションモニタシステム102は、AMEクッキー208をメディア識別子（たとえば、広告キャンペーン情報316、及び／又は発行者サイトID318）に関連付けて格納することによって、クライアントデバイス108に関連付けられているインプレッションをAMEインプレッションストア114内に記録する。加えて、インプレッションモニタシステム102は、インプレッションが生じた時刻／日付を示すタイムスタンプを生成し、そのタイムスタンプを、ログに記録されたインプレッションに関連付けて格納する。例示的なAMEインプレッションストア114の例示的な一実施態様が、図6において示されている。手短に図6を参照すると、AMEインプレッションストア114は、AMEクッキー（たとえば、図2及び図3のAMEクッキー208）を格納するためのAMEユーザID列602と、クライアントデバイス（たとえば、図1～図3のクライアントデバイス108）においてインプレッションがいつ生じたかを示すインプレッションタイムスタンプを格納するためのタイムスタンプ列604と、図3のキャンペーン情報316を格納するためのキャンペーンID列606と、図3の発行者サイトID318を格納するためのサイトID列608とを含む。

【0049】

[0067]図4は、1つ又は複数のデータベース所有者（たとえば、図1～図3のパートナーデータベース所有者104a～b）に登録されているユーザ（たとえば、図1～図3のクライアントデバイス108のユーザ）の人口統計にインプレッションに関連付けるために使用することができる例示的な装置400である。いくつかの例においては、装置400は、1つ又は複数のデータベース所有者（たとえば、図1～図3のパートナーデータベース所有者104a～b）において実装される。或いは、装置400は、その他のサイトにおいて実装することもできる。いくつかの例においては、装置400は、データベース所有者が、自分の所有している人口統計情報を、視聴者測定エンティティ103によって提供されるインプレッションログと結合できるようにするために、視聴者測定エンティティ103（図1）によって開発されて、データベース所有者に提供されることが可能である。データベース所有者の登録ユーザのプライバシーを確保するために、視聴者測定エンティティ103は、例示的な装置400をデータベース所有者のところにインストール又は配置することができ、それによって、データベース所有者は、ログに記録されたインプレッションに人口統計情報に関連付けるために自分の登録ユーザの識別情報を視聴者測定エンティティ103に提供する必要がなくなる。その代わりに、視聴者測定エンティティ103は、自分のログに記録されたインプレッション（たとえば、AMEインプレッションログ122）をデータベース所有者に提供することができ、データベース所有者は、自分の登録ユーザの識別情報（たとえば、名前及び連絡先情報）を隠したまま、ログに記録されたインプレッションにそれぞれの人口統計に関連付けることができる。

【0050】

[0068]示されている例においては、装置400は、例示的なクッキーマッチャー402と、例示的な人口統計アソシエータ404と、例示的な人口統計アナライザ406と、例示的な人口統計モディファイヤ408と、例示的なユーザIDモディファイヤ410と、例示的なレポートジェネレータ412と、例示的なデータパーサ414と、例示的なマップ416と、例示的な命令インターフェース418とを備えている。装置400を実装する例示的な方法が、図4において示されているが、図4において示されている要素、プロセス、及び／又はデバイスのうちの1つ又は複数は、その他の任意の方法で、結合、分割、再構成、省略、削除、及び／又は実装することができる。さらに、クッキーマッチャー402、人口統計アソシエータ404、人口統計アナライザ406、人口統計モディファイヤ408、ユーザIDモディファイヤ410、レポートジェネレータ412、データパ

ーサ 414、マップ 416、命令インターフェース 418、及び／又は、より一般には、図 4 の例示的な装置 400 は、ハードウェア、ソフトウェア、ファームウェア、並びに／又は、ハードウェア、ソフトウェア、及び／若しくはファームウェアの任意の組合せによって実装することができる。したがって、たとえば、クッキーマッチャー 402、人口統計アソシエータ 404、人口統計アナライザ 406、人口統計モディファイヤ 408、ユーザ ID モディファイヤ 410、レポートジェネレータ 412、データパーサ 414、マップ 416、命令インターフェース 418、及び／又は、より一般には、例示的な装置 400 のうちのいずれも、1 つ若しくは複数の回路、（1 つ若しくは複数の）プログラマブルプロセッサ、（1 つ若しくは複数の）特定用途向け集積回路（（1 つ若しくは複数の）ASIC）、（1 つ若しくは複数の）プログラマブルロジックデバイス（（1 つ若しくは複数の）PLD）、及び／又は（1 つ若しくは複数の）フィールドプログラマブルロジックデバイス（（1 つ若しくは複数の）FPLD）などによって実装することができる。本特許の装置請求項又はシステム請求項のうちの任意の請求項が、純粋にソフトウェア及び／又はファームウェアの実装形態をカバーするものとして読まれる場合には、クッキーマッチャー 402、人口統計アソシエータ 404、人口統計アナライザ 406、人口統計モディファイヤ 408、ユーザ ID モディファイヤ 410、レポートジェネレータ 412、データパーサ 414、マップ 416、及び／又は命令インターフェース 418 のうちの少なくとも 1 つは、そのソフトウェア及び／又はファームウェアを格納するメモリ、DVD、CD、BluRay ディスクなどの有形のコンピュータ可読メディアを含むものとして本明細書によって明示的に定義される。さらにまた、図 4 の例示的な装置 400 は、図 4 に示されている要素、プロセス、及び／若しくはデバイスに加えて、若しくはそれらの代わりに、1 つ若しくは複数の要素、プロセス、及び／若しくはデバイスを含むことができ、並びに／又は、示されている要素、プロセス、及びデバイスのうちの任意のもの若しくはすべてのうちの複数を含むことができる。

【0051】

[0069] 図 4 を詳細に参照すると、示されている例においては、装置 400 は、パートナー A データベース所有者 104a（図 1 及び図 2）のところに実装されている。装置 400 のその他の例は、AME 103 とともに参加しているその他の任意のデータベース所有者（たとえば、パートナー B データベース所有者 104b）のところに同様に実装することができる。図 4 の示されている例においては、装置 400 は、インプレッションモニタシステム 102 から AME インプレッションログ 122 を受信し、それによって、装置 400 は、ユーザアカウントデータベース 238 からのユーザ／視聴者メンバーの人口統計を、ログに記録されたインプレッションに関連付けることができる。

【0052】

[0070] 示されている例においては、装置 400 は、AME インプレッションログ 122 からの AME クッキー（たとえば、図 2 及び図 3 の AME クッキー 208）からの AME ユーザ ID を、パートナー A クッキーマップ 236 内の AME ユーザ ID にマッチさせるためのクッキーマッチャー 402 を備えている。装置 400 は、ログに記録されたインプレッションが帰することができるパートナー A データベース所有者 104a の登録ユーザ（たとえば、インプレッションモニタシステム 102 が、図 2 に関連して上述したように AME クッキーを設定して、図 3 に関連して上述したようにインプレッションを追跡把握したパートナー A の登録ユーザ）を識別するために、そのようなクッキーのマッチングを実行する。たとえば、パートナークッキーマップ 236 は、AME ユーザ ID 列 502 内の AME ユーザ ID を、パートナーユーザ ID 列 504 内のパートナーユーザ ID に関連付けるものとして、図 5 において示されている。AME インプレッションログ 122 は、AME ユーザ ID ごとにインプレッションを記録する、図 6 において示されているような AME インプレッションストア 114 内のデータと同様に構築されている。したがって、クッキーマッチャー 402 は、AME インプレッションログ 122 の AME ユーザ ID 列 602 からの AME ユーザ ID を、パートナークッキーマップ 236 の AME ユーザ ID 列 502 の AME ユーザ ID にマッチさせて、AME インプレッションログ 122 からの

ログに記録されたインプレッションを、図5のパートナークッキーマップ236においてマップされている対応するパートナーユーザIDに関連付ける。いくつかの例においては、AME103は、AMEインプレッションログ122をパートナーデータベース所有者（たとえば、図1及び図2のパートナーデータベース所有者104a及び104b）へ送信する前に、AMEインプレッションログ122内のキャンペーンIDを暗号化すること、わかりにくくすること、変更することなどを行って、そのキャンペーンIDが対応するメディアをパートナーデータベース所有者が認識するのを防止するか、又はそのメディアの識別情報をその他の形で保護する。そのような例においては、キャンペーンID情報のルックアップテーブルをインプレッションモニタシステム102において格納することができ、それによって、パートナーデータベース所有者から受信されたインプレッションレポート（たとえば、図1のインプレッションレポート106a及び106b）をメディアに相関付けることができる。

10

【0053】

[0071]いくつかの例においては、クッキーマッチャー402は、図5のログインタイムスタンプ列506内に格納されているログインタイムスタンプ（たとえば、図2のログインタイムスタンプ220）と、図6のタイムスタンプ列604内に格納されているインプレッションタイムスタンプとを使用して、インプレッションモニタシステム102によってログに記録されたインプレッションが帰することができる別々のユーザを見分ける。すなわち、パートナーAデータベース所有者104aに関するそれぞれのユーザ名／パスワードログイン証明書を有する2人のユーザが、同じクライアントデバイス108を使用する場合には、インプレッションモニタシステム102によってログに記録されるすべてのインプレッションは、インプレッションが生じたときにクライアントデバイス108をどのユーザが使用していたかにかかわらず、クライアントデバイス108内に設定された同じAMEクッキー（たとえば、図2及び図3のAMEクッキー208）に基づくことになる。しかし、（たとえば、図6のタイムスタンプ列604内の）ログに記録されたインプレッションタイムスタンプを、（たとえば、図5のログインタイムスタンプ列506内の）ログインタイムスタンプと比較することによって、クッキーマッチャー402は、対応するインプレッションが生じたときにどのユーザがパートナーAデータベース所有者104aのログに記録されたかを特定することができる。たとえば、ユーザ「TOM」が、2010年1月1日の午前12時57分にパートナーAデータベース所有者104aにログインし、ユーザ「MARY」が、同じクライアントデバイス108を使用して、2010年1月1日の午後3時にパートナーAデータベース所有者104aにログインした場合には、これらのログインイベントは、同じAMEクッキー（たとえば、図2及び図3のAMEクッキー208）に関連付けられる。このような例においては、クッキーマッチャー402は、2010年1月1日の午前12時57分から午後3時までに同じAMEクッキーに関してインプレッションモニタシステム102によってログに記録されたすべてのインプレッションをユーザ「TOM」に関連付け、2010年1月1日の午後3時以降に同じAMEクッキーに関してインプレッションモニタシステム102によってログに記録されたすべてのインプレッションをユーザ「MARY」に関連付ける。このような時間ベースの関連付けについては、以降で説明する図7の示されている例示的なデータ構造において示されている。

20

30

40

【0054】

[0072]示されている例においては、クッキーマッチャー402は、マッチした結果を、図7において詳細に示されている例示的なパートナーベースのインプレッションデータ構造700へと編集する。手短に図7を参照すると、パートナーベースのインプレッション構造700は、AMEユーザID列702と、インプレッションタイムスタンプ列704と、キャンペーンID列706と、サイトID列708と、ユーザログインタイムスタンプ710と、パートナーユーザID列712とを含む。AMEユーザID列702においては、クッキーマッチャー402は、AMEクッキー（たとえば、図2及び図3のAMEクッキー208）を格納する。インプレッションタイムスタンプ列704においては、ク

50

クッキーマッチャー 402 は、それぞれのインプレッションがいつログに記録されたかを示す、インプレッションモニタシステム 102 によって生成されたタイムスタンプを格納する。キャンペーン ID 列 706 においては、クッキーマッチャー 402 は、たとえば、図 3 のキャンペーン情報 316 内に格納されている広告キャンペーン ID を格納する。いくつかの例においては、キャンペーン ID 列 706 の代わりに、又はキャンペーン ID 列 706 に加えて、パートナーベースのインプレッションデータ構造 700 は、メディアの識別情報を格納するためのコンテンツ ID 列を含む。いくつかの例においては、一部のメディア（たとえば、広告、コンテンツ、及び／又はその他のメディア）は、キャンペーン ID 又はコンテンツ ID に関連付けられない。図 7 の示されている例においては、キャンペーン ID 列 706 内の空欄は、キャンペーン ID 及び／又はコンテンツ ID に関連付けられていないメディアを示している。サイト ID 列 708 においては、クッキーマッチャー 402 は、広告発行者サイト ID（たとえば、図 3 の発行者サイト ID 318）を格納する。ユーザログインタイムスタンプ列 710 においては、クッキーマッチャー 402 は、パートナーログインページ（たとえば、図 2 のログインページ 204）を介してそれぞれのユーザがいつログインしたかを示すタイムスタンプ（たとえば、図 2 のタイムスタンプ 220）を格納する。パートナーユーザ ID 列 712 においては、クッキーマッチャー 402 は、パートナークッキー（たとえば、図 2 のパートナー A クッキー 228）を格納する。

10

【0055】

[0073] 図 4 に戻ると、示されている例においては、装置 400 は、ユーザアカウントデータベース 238 からの人口統計情報を、パートナーベースのインプレッション構造 700 からの対応するパートナーベースのインプレッションに関連付けるための人口統計アソシエータ 404 を備えている。たとえば、人口統計アソシエータ 404 は、パートナーユーザ ID 列 712（図 7）に記載されているパートナーユーザ ID に関する人口統計情報を取り出し、その取り出した人口統計情報を、パートナーベースのインプレッション構造 700 内のレコードのうちの対応するレコードに関連付けることができる。

20

【0056】

[0074] 図 4 の示されている例においては、人口統計情報を正確さ及び／又は完全性に関して分析するために、装置 400 は、人口統計アナライザ 406 を備えている。加えて、不正確な及び／又は不完全なレコード内の人口統計情報を更新、修正、及び／又は補完するために、装置 400 は、人口統計モディファイヤ 408 を備えている。いくつかの例においては、人口統計アナライザ 406、及び／又は人口統計モディファイヤ 408 は、2011 年 8 月 12 日に出願された「Methods and Apparatus to Analyze and Adjust Demographic Information」という名称の米国特許出願第 13/209,292 号において開示されている例示的な方法、システム、装置、及び／又は製品を使用して、不正確な人口統計情報を分析及び／又は調整し、この米国特許出願第 13/209,292 号は、その全体が参照によって本明細書に組み込まれている。

30

【0057】

[0075] 示されている例においては、人口統計情報を追加した後に、且つそのデータを AME 103 に提供する前に、パートナーベースのインプレッション構造 700 からユーザ ID を除去するために、示されている例の装置 400 は、ユーザ ID モディファイヤ 410 を備えている。示されている例においては、ユーザ ID モディファイヤ 410 は、パートナー A データベース所有者 104a の登録ユーザのプライバシーを保護するために、少なくともパートナーユーザ ID を（パートナーユーザ ID 列 712 から）除去するように構成されている。いくつかの例においては、ユーザ ID モディファイヤ 410 は、AME ユーザ ID を（たとえば、AME ユーザ ID 列 702 から）除去することもでき、それにより、装置 400 によって生成されるインプレッションレポート 106a は、人口統計レベルのインプレッションレポートになる。（たとえば、ユーザ ID モディファイヤ 410 による、及び／又はレポートジェネレータ 412 による）ユーザ ID の「除去」は、対応

40

50

するユーザIDフィールドから何らかのデータを削除することとは対照的に、それらのフィールド内にデータのコピーを提供しないことによって、行うことができる。AMEユーザIDがインプレッションデータ構造700内で保持されている場合には、示されている例の装置400は、ユーザレベルのインプレッションレポートを生成することができる。

【0058】

[0076]図4の示されている例においては、インプレッションレポート106aを生成するために、装置400は、レポートジェネレータ412を備えている。レポートジェネレータ412がインプレッションレポート106aに関して生成することができる例示的な情報については、以降で図8及び図9に関連して詳細に説明する。

【0059】

[0077]図4の示されている例においては、情報を解析するために、装置400は、データパーサ414を備えている。いくつかの例においては、データパーサ414は、クライアントデバイス及び／又はその他のシステムからメッセージを受信し、それらの受信したメッセージからの情報を解析する。たとえば、装置400は、データパーサ414を使用して、クッキーレポート202（図2）からログイン報告メッセージ118を受信し、そのログイン報告メッセージ118を解析して、そこからパートナーAクッキー228、AMEクッキー208、及び／又はログインタイムスタンプ220を取り出すことができる。いくつかの例においては、装置400はまた、データパーサ414を使用して、AMEインプレッションログ122内の情報を解析し、及び／又はその他の任意のデータ構造及び／又はメッセージからの情報を解析する。

【0060】

[0078]図4の示されている例においては、情報をマップするために、装置400は、マップ416を備えている。いくつかの例においては、マップ416は、同じユーザに関連付けられているが別々のインターネットドメインに対応するクッキー識別子をマップする。たとえば、装置400は、マップ416を使用して、パートナーAクッキー228を、パートナークッキーマップ236（図2、図4、及び図5）内のAMEクッキー208（図2）にマップすることができる。いくつかの例においては、マップ416はまた、ログインタイムスタンプを、対応するクッキー識別子にマップする。たとえば、装置400は、マップ416を使用して、ログインタイムスタンプ220（図2）を、パートナークッキーマップ236内の対応するパートナーAクッキー228及びAMEクッキー208にマップすることができる。

【0061】

[0079]図4の示されている例においては、ログインウェブページ（たとえば、図2のログインウェブページ204）を介したユーザログインをモニタするためのコンピュータ実行可能命令を（1つ又は複数の）クライアントデバイス108へ送信するために、装置400は、命令インターフェース418を備えている。たとえば、装置400は、命令インターフェース418を使用して、コンピュータ実行可能命令（たとえば、Java、ジャバスクリプト、又はその他の任意のコンピュータ言語若しくはスクリプト）をクライアントデバイス108へ送信することができ、それらのコンピュータ実行可能命令は、クッキーレポート202（図2）を実施するためにウェブブラウザ302（図3）によって実行される。いくつかの例においては、命令インターフェース418は、装置400を実装しているエンティティー（たとえば、データベース所有者パートナー104a及び104bのうちの1つ）によって提供されるインターネットベースのサービスのログインウェブページ（たとえば、ログインウェブページ204）を求めるウェブブラウザ302からの要求を受信したことに応答して、コンピュータ実行可能命令をクライアントデバイス108へ送信する。この方法においては、クライアントデバイス108は、ログインウェブページにおけるログインイベントをモニタするためのコンピュータ実行可能命令を実行することができる。

【0062】

[0080]図15は、図1～図3のインプレッションモニタシステム102を実施するため

10

20

30

40

50

に使用することができる例示的な装置である。示されている例においては、AMEクッキー（たとえば、図2のAMEクッキー208）が、クライアントデバイス（たとえば、図1～図3のクライアントデバイス108のうちのいずれか）の中に設定されているか（たとえば、格納されているか）どうかを検知するために、インプレッションモニタシステム102は、クッキーステータスディテクタ1402を備えている。たとえば、クッキーステータスディテクタ1402は、クライアントデバイスからのメッセージ（たとえば、図2の要求206）を検査又は分析して、AMEクッキーがそのクライアントデバイス内に存在するかどうかを特定することができる。示されている例においては、AMEクッキー（たとえば、AMEクッキー208（図2））を生成するために、インプレッションモニタシステム102は、クッキージェネレータ1404を備えている。

10

【0063】

[0081]示されている例においては、ログインタイムスタンプ（たとえば、図2のログインタイムスタンプ220）を生成するために、インプレッションモニタシステム102は、タイムスタンプジェネレータ1406を備えている。たとえば、タイムスタンプジェネレータ1406は、時刻を追跡把握してタイムスタンプを生成するために、リアルタイムクロック（RTC）、或いはその他の任意のタイミングデバイス若しくはタイミングインターフェース又はクロックデバイス若しくはクロックインターフェースを使用して実施することができる。示されている例においては、メッセージ（たとえば、図2の応答216）を生成するために、インプレッションモニタシステム102は、メッセージジェネレータ1408を備えている。示されている例においては、インプレッションをログに記録するために、インプレッションモニタシステム102は、インプレッションロガー1410を備えている。たとえば、インプレッションロガー1410は、図6において示されているようなAMEインプレッションストア114内にインプレッションを記録することができる。

20

【0064】

[0082]示されている例においては、メッセージ及び／又は情報をクライアントデバイス108から受信し、メッセージ及び／又は情報をクライアントデバイス108へ、並びに／又はパートナーデータベース所有者104a及び104bへ送信するために、インプレッションモニタシステム102は、通信インターフェース1412を備えている。たとえば、通信インターフェース1412は、（1つ又は複数の）タグ要求112（図1）及び要求206（図2）などのメッセージをクライアントデバイス108から受信することができる。加えて、通信インターフェース1412は、応答216（図2）などのメッセージをクライアントデバイス108へ送信すること、並びにログに記録されたインプレッション（たとえば、AMEインプレッションストア114内に記録されたインプレッション）をパートナーデータベース所有者104a及び104bへ送信することができる。

30

【0065】

[0083]図15は、図2のクッキーレポータ202を実施するために使用することができる例示的な装置である。示されている例においては、ログインイベントを検知するために、クッキーレポータ202は、ログインイベントディテクタ1502を備えている。たとえば、ログインディテクタ1502は、クライアントデバイス（たとえば、図1～図3のクライアントデバイス108）のウェブブラウザ（たとえば、図3のウェブブラウザ302）によって生成されるログインイベントをモニタするように構成することができる。示されている例においては、ユーザが図2のログインウェブページ204にログインしたときに、ログインディテクタ1502は、ログインイベントを検知する。

40

【0066】

[0084]示されている例においては、AMEクッキー（たとえば、図2のAMEクッキー208）又はパートナークッキー（たとえば、図2のパートナークッキー228）が、クライアントデバイス（たとえば、図1～図3のクライアントデバイス108）の中に設定されているか（たとえば、格納されているか）どうかを検知するために、クッキーレポータ202は、クッキーステータスディテクタ1504を備えている。たとえば、クッキー

50

ステータスディテクタ1502は、クライアントデバイス内のクッキーファイル又はクッキーエントリを検査又は分析して、AMEクッキー（たとえば、図2のAMEクッキー208）又はパートナークッキー（たとえば、図2のパートナークッキー228）が以前に設定されているかどうかを特定することができる。示されている例においては、クッキーステータスディテクタ1504は、クッキーの有効期限が切れているかどうかを特定することもできる。示されている例においては、クッキーは、有効期限が切れている場合には、無効なものとして、又はもはやクライアントデバイス内に存在しないかのように扱われ、対応するサーバドメインによって再び設定されなければならない。

【0067】

[0085]示されている例においては、クッキーをクライアントデバイス（たとえば、図1～図3のクライアントデバイス108）内の格納場所から取り出すために、クッキーレポータ202は、クッキーインターフェース1506を備えている。たとえば、クッキーインターフェース1506は、AMEクッキー（たとえば、図2のAMEクッキー208）又はパートナークッキー（たとえば、図2のパートナークッキー228）をクライアントデバイス内におけるそれらのクッキーのそれぞれの格納場所から取り出すことができる。加えて、クッキーインターフェース1506は、インプレッションモニタシステム102及び／又は任意のパートナーデータベース所有者によって設定されたクッキー、並びにインプレッションモニタシステム102及び／又は任意のパートナーデータベース所有者から受信されたクッキーをクライアントデバイス内に格納することもできる。

【0068】

[0086]示されている例においては、メッセージ（たとえば、図1及び図3の（1つ又は複数の）タグ要求112、図1及び図2のログ報告メッセージ118、並びに図2の要求206）を生成するために、クッキーレポータ202は、メッセージジェネレータ1508を備えている。示されている例においては、メッセージ及び／若しくは情報をインプレッションモニタシステム102へ、及び／若しくはパートナーデータベース所有者（たとえば、図1及び図2のパートナーデータベース所有者104a及び104b）へ送信するために、並びに／又はメッセージ及び／若しくは情報をインプレッションモニタシステム102から受信するために、クッキーレポータ202は、通信インターフェース1510を備えている。たとえば、通信インターフェース1510は、（1つ又は複数の）タグ要求112（図1及び図3）及び図2の要求206をインプレッションモニタシステム102へ送信すること、応答216（図2）をインプレッションモニタシステム102から受信すること、並びにログイン報告メッセージ118（図1及び図2）をパートナーデータベース所有者104a及び104bへ送信することができる。

【0069】

[0087]装置102及び202を実装する例示的な方法が、図14及び図15において示されているが、図14及び図15において示されている要素、プロセス、及び／又はデバイスのうちの1つ又は複数は、その他の任意の方法で、結合、分割、再構成、省略、削除、及び／又は実装することができる。さらに、クッキーステータスディテクタ1402、クッキージェネレータ1404、タイムスタンプジェネレータ1406、メッセージジェネレータ1408、インプレッションロガー1410、通信インターフェース1412、及び／又は、より一般には、図14の例示的な装置102は、ハードウェア、ソフトウェア、ファームウェア、並びに／又は、ハードウェア、ソフトウェア、及び／若しくはファームウェアの任意の組合せによって実装することができる。加えて、ログインイベントディテクタ1502、クッキーステータスディテクタ1504、クッキーインターフェース1506、メッセージジェネレータ1508、通信インターフェース1510、及び／又は、より一般には、図15の例示的な装置202は、ハードウェア、ソフトウェア、ファームウェア、並びに／又は、ハードウェア、ソフトウェア、及び／若しくはファームウェアの任意の組合せによって実装することができる。したがって、たとえば、クッキーステータスディテクタ1402、クッキージェネレータ1404、タイムスタンプジェネレータ1406、メッセージジェネレータ1408、インプレッションロガー1410、通信

インターフェース 1412、及び／若しくは、より一般には、例示的な装置 102 のうちのいずれも、並びに／又は、ログインイベントディテクタ 1502、クッキーステータスディテクタ 1504、クッキーインターフェース 1506、メッセージジェネレータ 1508、通信インターフェース 1510、及び／若しくは、より一般には、例示的な装置 202 のうちのいずれも、1つ若しくは複数の回路、(1つ若しくは複数の) プログラマブルプロセッサ、(1つ若しくは複数の) 特定用途向け集積回路 (1つ若しくは複数の) ASIC)、(1つ若しくは複数の) プログラマブルロジックデバイス (1つ若しくは複数の) PLD)、及び／又は (1つ若しくは複数の) フィールドプログラマブルロジックデバイス (1つ若しくは複数の) FPLD) などによって実装することができる。本特許の装置請求項又はシステム請求項のうちの任意の請求項が、純粹にソフトウェア及び／又はファームウェアの実装形態をカバーするものとして読まれる場合には、クッキーステータスディテクタ 1402、クッキージェネレータ 1404、タイムスタンプジェネレータ 1406、メッセージジェネレータ 1408、インプレッションロガー 1410、通信インターフェース 1412、ログインイベントディテクタ 1502、クッキーステータスディテクタ 1504、クッキーインターフェース 1506、メッセージジェネレータ 1508、及び／又は通信インターフェース 1510 のうちの少なくとも 1 つは、そのソフトウェア及び／又はファームウェアを格納するメモリ、DVD、CD、BluRay ディスクなどの有形のコンピュータ可読メディアを含むものとして本明細書によって明示的に定義される。さらにまた、例示的な装置 102 及び 202 は、図 14 及び図 15 に示されている要素、プロセス、及び／若しくはデバイスに加えて、若しくはそれらの代わりに、1つ若しくは複数の要素、プロセス、及び／若しくはデバイスを含むことができ、並びに／又は、示されている要素、プロセス、及びデバイスのうちの任意のもの若しくはすべてのうちの複数を含むことができる。

【0070】

[0088] 図 8 を参照すると、図 4 のレポートジェネレータ 412 によって生成することができる例示的なインプレッション集計データ構造 800 が、インプレッションモニタシステム 102 (図 1 ~ 図 3) によってログに記録されたインプレッションに基づくインプレッションの集計を格納している。図 8 において示されているように、インプレッション集計構造 800 は、クライアントデバイス 108 (図 1 ~ 図 3) に関してログに記録されたインプレッションの数量を示している。示されている例においては、インプレッション集計構造 800 は、レポートジェネレータ 412 によって、広告キャンペーン (たとえば、図 1 の広告 110 のうちの 1 つ又は複数) に関して、それぞれのモニタされているユーザごとの 1 日あたりのインプレッションの頻度を特定するために生成される。

【0071】

[0089] 1 日あたりのユニークユーザごとのインプレッションの頻度を追跡把握するために、インプレッション集計構造 800 は、頻度列 802 を備えている。1 という頻度は、1 人のユニークユーザへの 1 つの広告キャンペーンの 1 日あたり 1 回の露出を示しており、その一方で、4 という頻度は、1 人のユニークユーザへの同じ広告キャンペーンの 1 日あたり 4 回の露出を示している。インプレッションが帰することができるユニークユーザの数量を追跡把握するために、インプレッション集計構造 800 は、UUID 列 804 を備えている。UUID 列 804 内の 100, 000 という値は、100, 000 人のユニークユーザを示している。したがって、インプレッション集計構造 800 の第 1 のエントリーは、100, 000 人のユニークユーザ (すなわち、UUID = 100, 000) が、特定の広告キャンペーンに 1 日に 1 回露出されたこと (すなわち、頻度 = 1) を示している。

【0072】

[0090] 露出頻度及び UUID に基づいてインプレッションを追跡把握するために、インプレッション集計構造 800 は、インプレッション列 806 を備えている。インプレッション列 806 内に格納されているそれぞれのインプレッションカウントは、頻度列 802 内に格納されている対応する頻度値に、UUID 列 804 内に格納されている対応する U

UID値をかけることによって特定されている。たとえば、インプレッション集計構造800の第2のエントリーにおいては、2という頻度値に200,000人のユニークユーザをかけて、400,000のインプレッションが特定の広告キャンペーンに帰することができるということが特定されている。

【0073】

[0091]図9を参照すると、広告キャンペーンレベル／年齢／性別／インプレッション構成データ構造900が示されており、この広告キャンペーンレベル／年齢／性別／インプレッション構成データ構造900は、示されている例においては、図4のレポートジェネレータ412によって生成することができる。図9の広告キャンペーンレベル／年齢／性別／インプレッション構成構造900内のインプレッションデータは、特定のパートナーデータベース（DB）所有者（たとえば、図1及び図2のパートナーAデータベース所有者104a、又は図1のパートナーBデータベース所有者104b）の登録ユーザに帰することができるインプレッションに対応する。同様のテーブルを、コンテンツ及び／又はその他のメディアに関して生成することができる。追加として、又は代替として、広告に加えてその他のメディアをデータ構造900に追加することができる。

【0074】

[0092]広告キャンペーンレベル／年齢／性別／インプレッション構成構造900は、年齢／性別列902、インプレッション列904、頻度列906、及びインプレッション構成年齢／性別列908を備えている。示されている例の年齢／性別列902は、別々の年齢／性別ごとの人口統計グループを示している。示されている例のインプレッション列904は、対応する年齢／性別ごとの人口統計グループに関する特定の広告キャンペーンに関する合計インプレッションを示す値を格納している。示されている例の頻度列906は、インプレッション列904内のインプレッションに寄与した広告キャンペーンに関するユーザ1人あたりの露出の頻度を示す値を格納している。示されている例のインプレッション構成年齢／性別列908は、年齢／性別ごとの人口統計グループのそれぞれに関するインプレッションのパーセンテージを格納している。

【0075】

[0093]いくつかの例においては、図4の人口統計アナライザ406及び人口統計モディファイヤ408は、インプレッションベースの人口統計情報の最終結果をキャンペーンレベル／年齢／性別／インプレッション構成テーブル900にテーブル化する前に人口統計情報に関して人口統計の正確さの分析及び調整プロセスを実行する。これは、登録ユーザが自分自身をオンラインデータベース所有者（たとえば、パートナー104a及び104b）に示す示し方が、必ずしも真実を告げている（たとえば、正直である、及び／又は正確である）とは限らないという点で、オンライン視聴者測定プロセスに直面している問題に対処するために、行うことができる。いくつかの場合においては、視聴者の人口統計属性を特定するためにそのようなオンラインデータベース所有者におけるアカウント登録を活用するオンライン測定への例示的なアプローチは、データベース所有者サイトにおけるアカウント登録中の登録ユーザによる個人／人口統計情報の自己報告に依存する場合には、不正確な人口統計露出の結果につながる可能性がある。なぜユーザはデータベース所有者サービスに登録する際に間違った又は不正確な人口統計情報を報告するのかについては、多くの理由があるかもしれない。データベース所有者サイト（たとえば、ソーシャルメディアサイト）において人口統計情報を収集するために使用される自己報告の登録プロセスは、自己報告された人口統計情報の正確さを特定することを容易にしない。いくつかの例においては、不正確な人口統計情報を分析及び／又は調整するために、人口統計アナライザ406及び／又は人口統計モディファイヤ408は、2011年8月12日に出願された「Methods and Apparatus to Analyze and Adjust Demographic Information」という名称の米国特許出願第13/209,292号において開示されている例示的な方法、システム、装置、及び／又は製品を使用することができ、この米国特許出願第13/209,292号は、その全体が参照によって本明細書に組み込まれている。

10

20

30

40

50

【0076】

[0094]例示的な広告キャンペーンレベル／年齢／性別／インプレッション構成構造900は、年齢／性別ごとの人口統計情報のみに関連したインプレッション統計を示しているが、図4のレポートジェネレータ412は、追加として、又は代替としてその他のタイプの人口統計情報を含めるための同じ又はその他のデータ構造を生成することができる。この方法においては、レポートジェネレータ412は、別々のタイプの人口統計及び／又は別々のタイプのメディアに基づくインプレッションを反映するために、インプレッションレポート106a（図1及び図4）を生成することができる。

【0077】

[0095]図10～図13は、図1、図2、図3、及び／又は図4の装置及びシステムを実施するために実行することができるマシン可読命令を表すフロー図である。図10～図13の例示的なプロセスは、マシン可読命令を使用して実施することができ、それらのマシン可読命令は、実行されたときに、デバイス（たとえば、プログラマブルコントローラ、又はその他のプログラマブルマシン若しくは集積回路）に、図10～図13において示されているオペレーションを実行させる。この例においては、マシン可読命令は、以降で図29に関連して論じる例示的なコンピュータ2910内に示されているプロセッサ2912などのプロセッサによって実行するためのプログラムを含む。このプログラムは、CD-ROM、フロッピー（登録商標）ディスク、ハードドライブ、デジタル多用途ディスク（DVD）、BluRayディスク、フラッシュメモリ、読み取り専用メモリ（ROM）、ランダムアクセスメモリ（RAM）、又はプロセッサ2912に関連付けられているメモリなどの有形のコンピュータ可読メディア上に格納されているソフトウェアにおいて具体化することができるが、別法として、プログラム全体及び／又はその一部を、プロセッサ2912以外のデバイスによって実行すること、及び／又はファームウェア若しくは専用のハードウェアにおいて具体化することもできる。

【0078】

[0096]本明細書において使用される際には、有形のコンピュータ可読メディアという用語は、あらゆるタイプのコンピュータ可読ストレージを含むように、且つ伝搬信号を除外するように明示的に定義される。追加として、又は代替として、図10～図13の例示的なプロセスは、フラッシュメモリ、読み取り専用メモリ（ROM）、ランダムアクセスメモリ（RAM）、キャッシュ、又は、情報が任意の持続時間にわたって（たとえば、その情報を一時的にバッファに入れるために、及び／若しくはキャッシュに入れるために、長期間にわたって、永久に、短いインスタンスにわたって）格納されるその他の任意のストレージメディアなど、非一時的なコンピュータ可読メディア上に格納されているコード化された命令（たとえば、コンピュータ可読命令）を使用して実施することができる。本明細書において使用される際には、非一時的なコンピュータ可読メディアという用語は、あらゆるタイプのコンピュータ可読メディアを含むように、且つ伝搬信号を除外するように明示的に定義される。本明細書において使用される際には、「at least（少なくとも）」という語句は、請求項のプリアンブルにおいて移行語として使用される場合、「comprising（備える、含む）」という用語がオープンエンドであるのと同様に、オープンエンドである。したがって、「at least（少なくとも）」をプリアンブルにおいて移行語として使用している請求項は、その請求項において明示的に列挙されている要素のほかにも要素を含むことができる。

【0079】

[0097]或いは、図10～図13の例示的なプロセスは、（1つ又は複数の）特定用途向け集積回路（（1つ又は複数の）ASIC）、（1つ又は複数の）プログラマブルロジックデバイス（（1つ又は複数の）PLD）、（1つ又は複数の）フィールドプログラマブルロジックデバイス（（1つ又は複数の）FPLD）、ディスクリトロジック、ハードウェア、ファームウェアなどの任意の（1つ又は複数の）組合せを使用して実施することができる。また、図10～図13の例示的なプロセスは、前述の技術のうちの任意の技術の任意の（1つ又は複数の）組合せ、たとえば、ファームウェア、ソフトウェア、ディス

クリートロジック、及び／又はハードウェアの任意の組合せとして実施することができる。

【0080】

[0098]図10～図13の例示的なプロセスについては、図10～図13のフロー図を参照して説明するが、図1、図2、図3、及び／又は図4の装置及びシステムを実施するその他の方法を採用することもできる。たとえば、ブロックを実行する順序を変更することができ、及び／又は、説明されているブロックのうちのいくつかを変更、削除、分割、若しくは結合することができる。加えて、図10～図13の例示的なプロセスのうちの1つ又は複数は、順次、及び／又は、たとえば、別々の処理スレッド、プロセッサ、デバイス、ディスクリートロジック、回路などによって並行して、実行することができる。

10

【0081】

[0099]図10を詳細に参照すると、示されている例示的なプロセスを使用して、ログインイベント及びユーザクッキー（たとえば、図2及び図3のAMEクッキー208及びパートナーAクッキー228）をデータベース所有者（たとえば、図1及び図2のパートナーAデータベース所有者104a）に報告することができる。示されている例においては、フロー図は、クライアントデバイスプロセス1002、及びインプレッションモニタシステムプロセス1004を示している。示されている例においては、クライアントデバイスプロセス1002は、図2及び図15のクッキーレポート202によって実行することができ、インプレッションモニタシステムプロセス1004は、図1～図3及び図14のインプレッションモニタシステム102によって実施することができる。図10の例示的なプロセスについて、図2に関連して、クライアントデバイス108、インプレッションモニタシステム102、及びパートナーAデータベース所有者104aの間における対話として説明する。しかし、図10の例示的なプロセスと同様の又は同じ複数のプロセスを、その他のクライアントデバイス、インプレッションモニタシステム102、及び／又はその他のデータベース所有者の間において、任意の時点で、又は同時に実行して、それぞれのデータベース所有者（たとえば、図1及び図2のデータベース所有者104a及び104b）のログインページ（たとえば、図2のログインページ204）にユーザがログインしたときに同じタイプのユーザログイン報告イベントを達成することができる。

20

【0082】

[00100]はじめに、クライアントデバイスプロセス1002の一環として、ログインイベントディテクタ1502（図15）が、ログインイベントを検知する（ブロック1006）。このログインイベントは、たとえば、クライアントデバイス108のユーザが図2のログインページ204にログインしたことである場合がある。メッセージジェネレータ1508（図15）が、ログインイベントを示すための要求206（図2）を生成する（ブロック1008）。クッキーステータスディテクタ1504（図15）が、AMEクッキー（たとえば、図2のAMEクッキー208）がクライアントデバイス108内に既に設定されているかどうかを特定する（ブロック1010）。AMEクッキー208が既に設定されている場合には、クッキーインターフェース1506（図15）及び／又はメッセージジェネレータ1508が、AMEクッキー208（たとえば、ユーザを識別する名前-値のペア）を要求206内に格納する（ブロック1012）。AMEクッキー208を要求206内に格納した後に（ブロック1012）、又はAMEクッキー208がクライアントデバイス内にまだ設定されていない場合には（ブロック1010）、通信インターフェース1510（図15）が、要求206をインプレッションモニタシステム102へ送信する（ブロック1014）。

30

40

【0083】

[00101]例示的なインプレッションモニタシステムプロセス1004において示されているように、通信インターフェース1412（図14）が、要求206を受信し（ブロック1016）、クッキーステータスディテクタ1402（図14）が、AMEクッキー208がクライアントデバイス108内に既に設定されているかどうかを特定する（ブロック1018）。たとえば、クッキーステータスディテクタ1402は、要求206がAM

50

Eクッキー208を含んでいるかどうかに基づいて、AMEクッキー208が既に設定されているかどうかを特定することができる。クッキーステータスディテクタ1402が、AMEクッキー208がまだ設定されていないと特定した場合には（ブロック1018）、クッキージェネレータ1404（図14）が、AMEクッキー208を作成する（ブロック1020）。たとえば、クッキージェネレータ1404は、そのクライアントデバイス108に関するUUIDを生成することによって、AMEクッキー208を生成することができる。メッセージジェネレータ1408（図14）が、AMEクッキー208を応答216（図2）内に格納する（ブロック1022）。

【0084】

[00102] AMEクッキー208を応答216内に格納した後に（ブロック1022）、又はクッキーステータスディテクタ1402が、AMEクッキー208がクライアントデバイス108内に既に設定されているとブロック1018において特定した場合には、タイムスタンプジェネレータ1406が、検知されたログインイベントに関するログイン時刻を示すために、ログインタイムスタンプ（たとえば、図2のログインタイムスタンプ220）を生成する（ブロック1024）。メッセージジェネレータ1408が、ログインタイムスタンプ220を応答216内に格納し（ブロック1026）、通信インターフェース1412が、応答216をクライアントデバイス108へ送信する（ブロック1028）。

【0085】

[00103] クライアントデバイスプロセス1002に戻ると、通信インターフェース1510（図15）が、応答216を受信し（ブロック1030）、メッセージジェネレータ1508（図15）が、ログイン報告メッセージ118（図1及び図2）を生成する（ブロック1032）。ブロック1006において検知されたログインイベントに対応するパートナークッキー（たとえば、パートナーAクッキー228）が存在する場合には、クッキーインターフェース1506（図15）及び／又はメッセージジェネレータ1508が、そのパートナークッキーをログイン報告メッセージ118内に格納する（ブロック1034）。対応するパートナークッキーがクライアントデバイス108内に存在しない場合には、対応するパートナーに対して、そのクライアントデバイス108に関するパートナークッキーを作成すべき旨を示すために、パートナークッキーは、ログイン報告メッセージ118内に格納されない。加えて、クッキーインターフェース1506及び／又はメッセージジェネレータ1508が、AMEクッキー208をログイン報告メッセージ118内にデータパラメータとして（たとえば、ペイロード232内に）格納する（ブロック1036）。メッセージジェネレータ1508はまた、ログインタイムスタンプ220をログイン報告メッセージ118内に（たとえば、ペイロード232内に）格納する（ブロック1038）。通信インターフェース1510は、ログイン報告メッセージ118を、対応するパートナーデータベース所有者（たとえば、パートナーAデータベース所有者104a）へ送信する（ブロック1040）。この方法においては、クッキーレポート202は、パートナーAデータベース所有者104aが、パートナーAクッキー228を、図2及び図5のパートナークッキーマップ236内のAMEクッキー208及びログインタイムスタンプ220にマップできるようにする。そして図10の例示的なプロセスは、終了する。

【0086】

[0100] 次いで図11を参照すると、示されているフロー図は、AMEクッキー識別子（たとえば、図2のAMEクッキー208のUUID）を、パートナーデータベース所有者に登録されているユーザのユーザ識別子（たとえば、図2のパートナーAクッキー228のUUID）にマップするために、パートナーデータベース所有者（たとえば、図1及び図2のパートナーデータベース所有者104a及び／又は104b）によって実行することができる例示的なプロセスを表している。説明を簡潔にするために、図11は、単一のログインメッセージを受信するプロセスについて言及しているが、多くのそのようなプロセスが、並行して（たとえば、並行スレッドで）存在し、実行されることが可能である。

図 1 1 の例示的なプロセスについて、図 2 の示されている例、図 4 の装置 4 0 0、及びパートナー A データベース所有者 1 0 4 a に関連して説明する。しかし、図 1 1 の例示的なプロセスと同様の又は同じ複数のプロセスを、その他のパートナーデータベース所有者、及び／又はその他の装置によって、任意の時点で、又は同時に実行して、同じタイプのクッキーマッピングプロセスを達成することができる。

【0087】

[0101]はじめに、パートナー A データベース所有者 1 0 4 a が、ログイン報告メッセージ 1 1 8 (図 1 及び図 2) を受信する (ブロック 1 1 0 2)。データパーサ 4 1 4 (図 4) が、パートナー A クッキー 2 2 8 をログイン報告メッセージ 1 1 8 から抽出する (ブロック 1 1 0 4)。示されている例においては、データパーサ 4 1 4 は、パートナー A クッキー 2 2 8 をログイン報告メッセージ 1 1 8 のクッキーフィールド 2 3 0 から抽出する。データパーサ 4 1 4 は、AME クッキー 2 0 8 をログイン報告メッセージ 1 1 8 から抽出する (ブロック 1 1 0 6)。示されている例においては、データパーサ 4 1 4 は、AME クッキー 2 0 8 をデータパラメータとしてログイン報告メッセージ 1 1 8 のペイロード 2 3 2 から抽出する。加えて、データパーサ 4 1 4 は、ログインタイムスタンプ 2 2 0 をログイン報告メッセージ 1 1 8 から抽出する (ブロック 1 1 0 8)。マップ 4 1 6 (図 4) が、たとえば、図 2 及び図 5 のパートナークッキーマップ 2 3 6 において、パートナー A クッキー 2 2 8 を AME クッキー 2 0 8 にマップする (たとえば、それぞれのクッキーの U U I D を互いにマップする) (ブロック 1 1 1 0)。加えて、マップ 4 1 6 は、ログインタイムスタンプ 2 2 0 を、マップされたクッキーに関連付けてパートナークッキーマップ 2 3 6 内に格納する (ブロック 1 1 1 2)。そして図 1 1 の例示的なプロセスは、終了する。

【0088】

[0102]次いで図 1 2 を参照すると、示されている例示的なプロセスを実行して、インプレッションをログに記録することができる。示されている例においては、図 1 2 の例示的なプロセスについて、クライアントデバイス 1 0 8 から受信されたタグ要求に基づいてインプレッションモニタシステム 1 0 2 によって実行されるものとして、図 3 及び図 1 4 に関連して説明する。しかし、その他のクライアントデバイス (たとえば、図 1 のクライアントデバイス 1 0 8 のうちのいずれか、又はその他の任意のクライアントデバイス) に関連して、それらのクライアントデバイスに帰することができるインプレッションをログに記録するために、図 1 2 の例示的なプロセスと同様の又は同じ複数のプロセスを、インプレッションモニタシステム 1 0 2 によって、任意の時点で、又は同時に実行することができる (たとえば、複数のスレッドを生じさせて、並行して実行することができる)。

【0089】

[0103]はじめに、通信インターフェース 1 4 1 2 (図 1 4) が、タグ要求 (たとえば、図 1 及び図 3 のタグ要求 1 1 2) を受信する (ブロック 1 2 0 2)。インプレッションロガー 1 4 1 0 (図 1 4) が、AME クッキー 2 0 8 によって示されている AME U U I D に関するインプレッションをログに記録する (ブロック 1 2 0 4)。示されている例においては、インプレッションロガー 1 4 1 0 は、図 1、図 3、及び図 6 の AME インプレッションストア 1 1 4 内にインプレッションを記録する。インプレッションロガー 1 4 1 0 は、AME インプレッションログ 1 2 2 (図 1 及び図 4) を 1 つ又は複数のパートナーデータベース所有者へ送信すべきかどうかを特定する (ブロック 1 2 0 6)。たとえば、インプレッションロガー 1 4 1 0 は、スケジュール、及び／又は、ログに記録されたインプレッションのしきい値のうちの 1 つ又は複数に基づいて、1 つ又は複数のパートナーデータベース所有者 (たとえば、図 1 及び図 2 のパートナーデータベース所有者 1 0 4 a 及び 1 0 4 b) へ AME インプレッションログ 1 2 2 を定期的に又は不定期に送信するように構成することができる。

【0090】

[0104]インプレッションロガー 1 4 1 0 が、AME インプレッションログ 1 2 2 を 1 つ又は複数のパートナーデータベース所有者へ送信すべきであると特定した場合には (プロ

ック1206)、通信インターフェース1412は、AMEインプレッションログ122を1つ又は複数のパートナーデータベース所有者へ送信する(ブロック1208)。それに応答して、通信インターフェース1412は、1つ又は複数のインプレッションレポート(たとえば、図1及び図4のインプレッションレポート106a及び106b)を1つ又は複数のパートナーデータベース所有者から受信する(ブロック1210)。いくつかの例においては、インプレッションモニタシステム102は、別々のデータベース所有者(たとえば、パートナーデータベース所有者104a及び104b)からのインプレッションレポート内のインプレッション視聴者データに重み付け係数を適用する。いくつかの例においては、重み付け係数は、それぞれのデータベース所有者ごとに、たとえば、インプレッションデータにおける人口統計の分散及び/若しくはインプレッションの分散、並びに/又はサンプルサイズ(たとえば、特定のデータベース所有者の登録ユーザの数量、その特定のデータベース所有者に関してモニタされている登録ユーザの数量、及び/若しくは、その特定のデータベース所有者の登録ユーザに関してAME103によってログに記録されているインプレッションの数量)に基づいて特定される。

【0091】

[0105] 1つ若しくは複数のインプレッションレポートを受信した後に(ブロック1210)、又はインプレッションロガー1410が、AMEインプレッションログ122を1つ若しくは複数のパートナーデータベース所有者へ送信すべきではないとブロック1206において特定した場合には、インプレッションモニタシステム102が、インプレッションをモニタし続けるべきかどうかを特定する(ブロック1212)。たとえば、インプレッションモニタシステム102は、オフにされるか又は無効にされるまでインプレッションをモニタするように構成することができる。インプレッションモニタシステム102が、インプレッションをモニタし続けるべきであると特定した場合には(ブロック1212)、コントロールは、ブロック1202へ戻る。インプレッションモニタシステム102が、インプレッションをモニタし続けるべきではないと特定した場合には、図12の例示的なプロセスは、終了する。

【0092】

[0106] 次いで図13を参照すると、示されている例示的なプロセスを使用して、人口統計ベースのインプレッションレポート(たとえば、図1及び図4のインプレッションレポート106a及び106b)を生成することができる。図13の例示的なプロセスについて、図4に関連して、パートナーAデータベース所有者104aを介して例示的な装置400によって実施されるものとして説明する。しかし、図13の例示的なプロセスと同様の又は同じ複数のプロセスを、その他の任意の(1つ又は複数の)パートナーデータベース所有者によって、任意の時点で、又は同時に実行して、それらの(1つ又は複数の)パートナーデータベース所有者の登録ユーザに基づくインプレッションレポートを生成することができる。

【0093】

[0107] はじめに、装置400が、AMEインプレッションログ122(図4)を受信する(ブロック1302)。クッキーマッチャー402(図4)が、AMEクッキーをパートナーデータベース所有者クッキーにマッチさせる(ブロック1304)。たとえば、クッキーマッチャー402は、対応するデータベース所有者のクッキーマップ(たとえば、パートナーAクッキーマップ236(図4))を使用して、AMEインプレッションログ122内に示されているAMEクッキー(たとえば、図2及び図3のAMEクッキー208)からのUIDを、パートナーデータベース所有者クッキー(たとえば、図2及び図3のパートナーAデータベース所有者クッキー228)からのUIDにマッチさせることができる。次いでクッキーマッチャー402は、ブロック1304において見つかったマッチに基づいて、インプレッション(たとえば、AMEインプレッションログ122内に記載されているインプレッション)を、対応するパートナーデータベース所有者UIDに関連付ける(ブロック1306)。たとえば、クッキーマッチャー402は、図7に関連して上述したパートナーベースのインプレッションデータ構造700を生成すること

ができる。

【0094】

[0108]人口統計アソシエータ404（図4）が、対応するデータベース所有者（たとえば、パートナーAデータベース所有者104a）の登録ユーザの人口統計をインプレッションに関連付ける（ブロック1308）。たとえば、人口統計アソシエータ404は、パートナーベースのインプレッションデータ構造700のパートナーユーザID列712内に記載されているパートナーユーザIDに関する人口統計情報をユーザアカウントデータベース238（図2及び図4）から取り出すことができる。

【0095】

[0109]ユーザIDモディファイヤ410が、人口統計ベースのインプレッションデータ構造700からユーザIDを除去する（ブロック1310）。たとえば、ユーザIDモディファイヤ410は、AMEクッキー（たとえば、図2及び図3のAMEクッキー208）に対応するAMEユーザID列702、並びにパートナークッキー（たとえば、図2及び図3のパートナーAクッキー228）に対応するパートナーユーザID列712からUIDを除去することができる。その他の例においては、レポートジェネレータ412が、人口統計ベースのインプレッションデータ構造700から選択された部分をコピーし、それらの選択された部分を、ユーザIDをコピーすることなく、レポート内に格納することができる。この方法においては、装置400は、人口統計ベースのインプレッションが他者（たとえば、視聴者測定エンティティ）と共有される場合には、登録ユーザの識別情報をわかりにくくして、それらの登録ユーザのプライバシーを保護することができる。

【0096】

[0110]人口統計アナライザ406（図4）が、ブロック1308においてインプレッションに関連付けられた人口統計情報を分析する（ブロック1312）。人口統計アナライザ406は、いずれかの人口統計情報を修正する必要があるかどうかを特定する（ブロック1314）。人口統計情報のうちのいずれかを修正する必要がある場合には（たとえば、不完全及び／又は不正確であるため、人口統計情報を変更又は追加する必要がある場合には）、人口統計モディファイヤ408（図4）が、修正を必要とする選択人口統計データを修正する（ブロック1316）。示されている例においては、人口統計アナライザ406、及び／又は人口統計モディファイヤ408は、2011年8月12日に出願された「Methods and Apparatus to Analyze and Adjust Demographic Information」という名称の米国特許出願第13/209,292号において開示されている1つ又は複数の例示的な技術を使用して、人口統計情報を分析及び／又は調整するためのブロック1312、1314、及び1316のオペレーションを実行することができ、この米国特許出願第13/209,292号は、その全体が参照によって本明細書に組み込まれている。

【0097】

[0111]ブロック1316において人口統計情報を修正した後に、又は人口統計アナライザ406が、人口統計情報のうちのいずれも修正を必要としないブロック1314において特定した場合には、レポートジェネレータ412が、1つ又は複数のインプレッションレポート（たとえば、図1及び図4のインプレッションレポート106a）を生成する（ブロック1318）。たとえば、レポートジェネレータ412は、図8及び図9に関連して上述した1つ又は複数の例示的な技術を使用して、並びに／又はその他の任意の適切な（1つ若しくは複数の）技術を使用して、インプレッションレポート106aのうちの1つ又は複数を作成することができる。次いで装置400が、それらの1つ又は複数のインプレッションレポート106aをインプレッションモニタシステム102へ送信する（ブロック1320）。示されている例においては、それらのインプレッションレポート106aは、キャンペーンID及び／又はその他のメディアコンテンツIDによって識別されるメディア（たとえば、広告、コンテンツ、及び／又はその他のメディア）に露出された、別々のAMEクッキー208（及び対応するパートナーAクッキー228）に関連付けられている人口統計セグメント、集団、又はグループを示す。そして図13の例示

的なプロセスは、終了する。

【0098】

[0112]図16は、調整係数を生成するための例示的なシステム1600のブロック図である。たとえば、システム1600は、図1～図15に関連して説明した方法及び装置に従って生成された情報に基づいてさらに正確な情報を特定するための調整係数を生成することができる。例示的なシステム1600は、1つ又は複数のパネリストメーター1602と、データストア1604と、クッキー／パネリストマッチャー1606と、パネリスト／セッションマッチャー1608と、パートナーセッションページビューアナライザ1610と、パネリストセッションページビューアナライザ1612と、調整係数ジェネレータ1614とを含む。

10

【0099】

[0113](1つ又は複数の)パネリストメーター1602は、従来のパネリストのコンピュータ上でのコンピューティング活動に関する情報を収集する。示されている例によれば、(1つ又は複数の)パネリストメーター1602は、従来のパネリストのコンピュータ上にインストールされるソフトウェアによって実装される。或いは、その他の任意のタイプの(1つ又は複数の)パネリストメーター1602を利用することもできる。たとえば、(1つ又は複数の)パネリストメーター1602は、その一部を、又は全体を、コンピュータに関連付けられているデバイスによって実装することができる。

【0100】

[0114]示されている例の(1つ又は複数の)パネリストメーター1602は、コンピューティングセッションに関する情報を収集する。たとえば、コンピューティングセッションは、ユーザがコンピュータにログインしたとき、ユーザがウェブブラウザを開いたとき、ユーザがメディアをメディアプロバイダに要求したとき、ユーザが(1つ又は複数の)パネリストメーター1602に対して自分自身を名乗ったときなどに、開始することができる。示されている例の(1つ又は複数の)パネリストメーター1602は、自分自身を名乗るようにユーザに促すことによって、コンピューティングセッションに関連付けられているユーザを特定する。(1つ又は複数の)パネリストメーター1602は、コンピューティングセッションの終わりも特定する。たとえば、(1つ又は複数の)パネリストメーター1602は、ユーザがコンピュータからログアウトしたとき、ユーザがウェブブラウザを閉じたとき、ある時間にわたってコンピュータへのユーザ入力があった後などに、コンピューティングセッションが終了したと特定することができる。コンピューティングセッションの情報は、データストア1604内に格納される。コンピューティングセッションに関しては、図17において示されているようなテーブル内に情報を格納することができる。

20

30

【0101】

[0115]図17において示されている例によれば、このテーブルは、情報を収集したパネリストメーターを識別するmeter_idフィールドと、コンピューティングセッションに関連付けられているユーザを識別するmember_idフィールドと、コンピュータを識別するcomputer_idフィールドと、コンピューティングセッションの始まりを識別するstart_timeフィールドと、コンピューティングセッションの終わりを識別するend_timeフィールドとを含む。

40

【0102】

[0116]示されている例の(1つ又は複数の)パネリストメーター1602はまた、メディアプロバイダへの要求及びメディアプロバイダからの応答に関する情報を収集する。(1つ又は複数の)パネリストメーター1602はまた、メディアプロバイダ及び／又はパートナーデータベースプロバイダに対してユーザを識別するクッキーに関する情報を収集する。たとえば、タグ要求がパートナーデータベースプロバイダへ送信されるときに、そのタグ要求と、パートナーデータベースプロバイダに対してそのユーザを識別するクッキー(存在する場合)とが、(1つ又は複数の)パネリストメーター1602によってログに記録される。いくつかの例においては、そのクッキーは、タグ要求とともに送信される

50

たびにログに記録されるのではなく、コンピュータ上に設定されたときにのみ、ログに記録される。ログに記録された情報は、データストア1604内に格納される。たとえば、ログに記録された情報は、図18において示されているように格納することができる。

【0103】

[0117]図18において示されている例によれば、ログに記録された情報は、記録されたクッキー値を識別するcookie_valueフィールドと、情報をログに記録したパネリストメーターを識別するmeter_idフィールド、コンピュータを識別するcomputer_idフィールドと、クッキー値が確立された時刻（たとえば、ユーザがログインしてクッキーがユーザのコンピュータ上に設定された時刻）を示すlocal_timeフィールドとを含む。

10

【0104】

[0118]図16の示されている例のデータストア1604は、（1つ又は複数の）パネリストメーター1602から受信されたデータを格納し、そのデータをクッキー／パネリストマッチャー1606、パートナー／セッションマッチャー1608、及びパネリストセッションページビューアナライザ1612のうちの1つ又は複数へ送信する。いくつかの例においては、データストア1604は、クッキー／パネリストマッチャー1606、パネリスト／セッションマッチャー1608、パートナーセッションページビューアナライザ1610、及びパネリストセッションページビューアナライザ1612のうちの1つ又は複数によって生成されたデータを格納することもできる。データストア1604は、追加として、又は代替として、その他の任意の要素からのデータを格納すること、又はその他の任意の要素へデータを送信することができる。

20

【0105】

[0119]示されている例のクッキー／パネリストマッチャー1606は、コンピューティングセッションに関する情報、及び（1つ又は複数の）パネリストメーター1602からのパートナークッキーに関する情報を分析して、パートナークッキーとパネリストメンバーとの関連付けを特定する。例示的なクッキー／パネリストマッチャー1606は、パートナークッキーが設定された時刻（たとえば、図18のテーブル内で識別された時刻）を、コンピューティングセッションの開始時刻及び終了時刻（たとえば、図17のテーブル内の開始時刻及び終了時刻）と比較して、コンピューティングセッションへのクッキーの関連付けを特定する。例示的なクッキー／パネリストマッチャー1606はまた、マッチしているセッションに関して識別されたパネリストメンバーを（たとえば、図17のテーブル内のメンバーIDから）特定する。

30

【0106】

[0120]示されている例のクッキー／パネリストマッチャー1606は、クッキーがそれぞれのパネリストメンバーに関連付けられた回数を小計して、図19のテーブルを生成する。図19の例示的なテーブルにおいて示されているように、クッキー100000964240495は、メンバーID1のコンピューティングセッションに2回関連付けられており、メンバーID2に1回関連付けられている。示されている例によれば、クッキー／パネリストマッチャー1606は、メンバーID1に関するカウントが、メンバーID2に関するカウントよりも大きいため、クッキー100000964240495はメンバーID1に関連付けられていると特定する。それに応じて、例示的なクッキー／パネリストマッチャー1606は、図20のテーブルを生成し、このテーブルは、クッキーをパネリストメンバーに関連付ける。図20の例において示されている関連付けは、ある特定のパートナークッキーにどのパネリストメンバーが関連付けられているかに関する特定を示している。このプロセスによって、パネリストメンバーに関して知られている人口統計情報をパートナークッキーに関連付けることができる。

40

【0107】

[0121]示されている例のパネリスト／セッションマッチャー1608は、クッキー／パネリストマッチャー1606からのパネリストとパートナークッキーとの関連付けと、（1つ又は複数の）パネリストメーター1602からのパートナークッキーインスタンスに

50

関する情報とを利用して、パートナークッキーセッションの開始及び終了を特定する。パートナークッキーとパネリストとの例示的な関連付けが、図 2 1 において示されている（このテーブルは、図 2 0 において示されているテーブルと同様であるが、さらなる説明のために、さらなるパネリストメンバーを含んでいる）。パートナークッキーインスタンスの例示的なリストが、図 2 2 において示されている（このテーブルは、図 1 8 において示されているテーブルと同様であるが、さらなる説明のために、さらなるパートナークッキーを含んでいる）。例示的なパネリスト／セッションマッチャー 1 6 0 8 は、パートナークッキーインスタンスの時刻を使用して、図 2 3 において示されているようなパートナークッキーセッションのリストを生成する。パートナークッキーセッションのリストを生成するための例示的な方法のフローチャートについて、図 2 8 のフローチャートに関連して説明する。

10

【0 1 0 8】

[0122] 示されている例のパートナーセッションページビューアナライザ 1 6 1 0 は、パネリスト／セッションマッチャー 1 6 0 8 からのパートナークッキーセッションのリストを使用して、メディアプロバイダページビューに関連付けられている人口統計情報を特定する。それらのページビューに関する人口統計情報は、図 1 ～図 1 5 に関連して説明した方法及び装置を使用してそのようなメディアプロバイダページビューに関連付けられることになる人口統計情報をシミュレートする。人口統計情報は、パートナークッキーに関連付けられていると特定されたパネリスト情報からその人口統計情報を取り出すことによって特定される。なぜなら、パートナーからの人口統計情報は、典型的には、プライバシーの制約に起因して利用できないためである。例示的なパートナーセッションページビューアナライザ 1 6 1 0 は、性別及び年齢に基づいて情報を集約して、図 2 4 の列 2 4 0 2 において示されるページビューの数を特定する。

20

【0 1 0 9】

[0123] 示されている例のパネリストセッションページビューアナライザ 1 6 1 2 は、（1 つ又は複数の）パネリストメーター 1 6 0 2 によって特定されるパネリストメンバー情報を使用して、メディアプロバイダページビューに関連付けられている人口統計情報を特定する。たとえば、（1 つ又は複数の）パネリストメーター 1 6 0 2 が、コンピューティングデバイスのユーザに自分の識別情報を入力するように促す場合には、パネリストセッションページビューアナライザ 1 6 1 2 によって利用される人口統計情報は、その促したことに応答して識別されるパネリストメンバーに関連付けられている人口統計情報である。例示的なパネリストセッションページビューアナライザ 1 6 1 2 は、性別及び年齢に基づいて情報を集約して、図 2 4 の列 2 4 0 4 において示されるページビューの数を特定する。（1 つ又は複数の）パネリストメーター 1 6 0 2 に基づいて特定されるコンピューティングデバイスのユーザの識別情報は、パートナークッキーの人口統計の特定が比較される対照情報に相当する。

30

【0 1 1 0】

[0124] 示されている例の調整係数ジェネレータ 1 6 1 4 は、パートナーセッションページビューアナライザ 1 6 1 0 からのページビュー情報を、パネリストセッションページビューアナライザ 1 6 1 2 からのページビュー情報と比較して、調整係数を特定する。この調整係数は、パートナークッキー及びパートナーデータベースを使用して特定されたページビューカウントに適用される訂正值である。言い換えれば、調整係数は、パートナークッキーを使用して（たとえば、図 1 ～図 1 5 の方法及び装置に従って）特定された人口統計情報と、（1 つ又は複数の）パネリストメーター 1 6 0 2 から特定された人口統計情報との間における統計上の差に相当する。たとえば、図 2 4 の列 2 4 0 6 は、パートナークッキーからの人口統計情報を使用して特定されたページビュー（列 2 4 0 2）を、（1 つ又は複数の）パネリストメーター 1 6 0 2 の人口統計情報を使用して特定されたページビュー（列 2 4 0 4）で割ることによって、それぞれの人口統計カテゴリーごとに計算された調整係数を示している。図 2 4 の「すべて」の行は、1 0, 8 1 0 個のページビュー（4 0, 9 4 3 - 3 0, 1 3 3）にパートナークッキーが関連付けられておらず、その結果

40

50

、調整係数は74%であるということを示している。言い換えれば、パートナークッキーを使用したページビューの特定は、ページビューの74%を占め、パートナークッキーに基づいて特定されたページビューカウントは、パートナークッキーを有していないコンピューティングデバイスによるページビューを計上するために、しかるべく増減されるべきである（たとえば、パートナークッキーを使用して特定されたページビューは、0.74で割られるべきである）。

【0111】

[0125]いくつかの例においては、システム1600は、追加として、又は代替として、（1つ又は複数の）パネリストメーター1602及びパートナークッキーの情報を使用してメディアプロバイダに関するユニークユーザの数を特定することによって、個々のページビューの代わりにユニークユーザに関するカウントを特定することができる。ユニーク視聴者に関するカウント及び調整係数を示す例示的なテーブルが、図25において示されている。

10

【0112】

[0126]図16のシステム1600について上述した内容は、メディアプロバイダページビューについて言及しているが、その他の任意のコンピューティング活動を分析ことができ、そのコンピューティング活動に人口統計情報を関連付けることができる。

【0113】

[0127]図26～図29は、図16の装置及びシステムを実施するために実行することができるマシン可読命令を表すフロー図である。図26～図29の例示的なプロセスは、マシン可読命令を使用して実施することができ、それらのマシン可読命令は、実行されたときに、デバイス（たとえば、プログラマブルコントローラ、又はその他のプログラマブルマシン若しくは集積回路）に、図26～図29において示されているオペレーションを実行させる。この例においては、マシン可読命令は、以降で図29に関連して論じる例示的なコンピュータ2910内に示されているプロセッサ2912などのプロセッサによって実行するためのプログラムを含む。このプログラムは、CD-ROM、フロッピーディスク、ハードドライブ、デジタル多用途ディスク（DVD）、Blu Rayディスク、フラッシュメモリ、読み取り専用メモリ（ROM）、ランダムアクセスメモリ（RAM）、又はプロセッサ2912に関連付けられているメモリなどの有形のコンピュータ可読メディア上に格納されているソフトウェアにおいて具体化することができるが、別法として、プログラム全体及び／又はその一部を、プロセッサ2912以外のデバイスによって実行すること、及び／又はファームウェア若しくは専用のハードウェアにおいて具体化することもできる。

20

30

【0114】

[0128]本明細書において使用される際には、有形のコンピュータ可読メディアという用語は、あらゆるタイプのコンピュータ可読ストレージを含むように、且つ伝搬信号を除外するように明示的に定義される。追加として、又は代替として、図26～図29の例示的なプロセスは、フラッシュメモリ、読み取り専用メモリ（ROM）、ランダムアクセスメモリ（RAM）、キャッシュ、又は、情報が任意の持続時間にわたって（たとえば、その情報を一時的にバッファに入れるために、及び／若しくはキャッシュに入れるために、長期間にわたって、永久に、短いインスタンスにわたって）格納されるその他の任意のストレージメディアなど、非一時的なコンピュータ可読メディア上に格納されているコード化された命令（たとえば、コンピュータ可読命令）を使用して実施することができる。本明細書において使用される際には、非一時的なコンピュータ可読メディアという用語は、あらゆるタイプのコンピュータ可読メディアを含むように、且つ伝搬信号を除外するように明示的に定義される。本明細書において使用される際には、「at least（少なくとも）」という語句は、請求項のプリアンブルにおいて移行語として使用される場合、「comprising（備える、含む）」という用語がオープンエンドであるのと同様に、オープンエンドである。したがって、「at least（少なくとも）」をプリアンブルにおいて移行語として使用している請求項は、その請求項において明示的に列挙され

40

50

ている要素のほかにも要素を含むことができる。

【0115】

[0129]或いは、図26～図29の例示的なプロセスは、（1つ又は複数の）特定用途向け集積回路（（1つ又は複数の）ASIC）、（1つ又は複数の）プログラマブルロジックデバイス（（1つ又は複数の）PLD）、（1つ又は複数の）フィールドプログラマブルロジックデバイス（（1つ又は複数の）FPLD）、ディスクリットロジック、ハードウェア、ファームウェアなどの任意の（1つ又は複数の）組合せを使用して実施することができる。また、図26～図29の例示的なプロセスは、前述の技術のうちの任意の技術の任意の（1つ又は複数の）組合せ、たとえば、ファームウェア、ソフトウェア、ディスクリットロジック、及び／又はハードウェアの任意の組合せとして実施することができる。

10

【0116】

[0130]図26～図29の例示的なプロセスについては、図26～図29のフロー図を参照して説明するが、図16の装置及びシステムを実施するその他の方法を採用することもできる。たとえば、ブロックを実行する順序を変更することができ、及び／又は、説明されているブロックのうちのいくつかを変更、削除、分割、若しくは結合することができる。加えて、図16の例示的なプロセスのうちの1つ又は複数の、順次、及び／又は、たとえば、別々の処理スレッド、プロセッサ、デバイス、ディスクリットロジック、回路などによって並行して、実行することができる。

【0117】

[0131]図26の例示的なプロセスは、図16の（1つ又は複数の）パネリストメーター1602が、パートナーログインに関するクッキー識別子を特定したとき（ブロック2602）、及びコンピューティングセッションに関するパネルメンバー識別子を特定したとき（ブロック2604）に開始する。たとえば、（1つ又は複数の）パネリストメーター1602は、識別された情報を収集する時間にわたってコンピューティングデバイスを測定することができる。（1つ又は複数の）パネリストメーター1602は、図18の例において示されているように、パートナーログインに関する特定されたクッキー識別子を追跡把握することができる（ブロック2602）。この（1つ又は複数の）パネリストメーターは、図17の例において示されているように、コンピューティングセッションに関する特定されたパネルメンバー識別子を追跡把握することができる（ブロック2604）。ブロック2602及び2604によって追跡把握された情報は、（1つ又は複数の）パネリストメーター1602において格納することができ、及び／又はデータストア1604へ送信することができる。

20

30

【0118】

[0132]次いで、パネリスト1606に対する例示的なクッキーが、パートナークッキー識別子をパネリストメンバー識別子に関連付ける（ブロック2606）。パートナークッキー識別子をパネリストメンバー識別子に関連付けるための例示的なプロセスについては、図27に関連して説明する。パートナークッキー識別子の関連付けは、テーブル又はその他のデータ構造（たとえば、図20において示されているテーブル内に格納することができる）。

40

【0119】

[0133]次いで、例示的なパネリスト／セッションマッチャー1608が、ブロック2606において特定された関連付けを使用して、パネリストをコンピューティングセッションに関連付ける（ブロック2608）。（1つ又は複数の）パネリストメーター1602が、（たとえば、ユーザに自分自身を名乗るように促すことによって）パネリストをコンピューティングセッションに関連付ける一方で、ブロック2608の関連付けは、図1～図15の方法及び装置によって実行されることになるパネリスト（及びそれらのパネリストの人口統計情報）のマッチングを特定する（たとえば、シミュレートする）。パネリストをコンピューティングセッションに関連付けるための例示的なプロセスについては、図28に関連して説明する。

50

【0120】

[0134]ブロック2608からの関連付けを使用して、例示的なパートナーセッションページビューアナライザ1610が、人口統計グループごとのページビューを特定する（ブロック2610）。ブロック2610のページビュー情報は、図1～図15の方法及び装置に従ってパートナークッキー情報を使用して特定されることになるページビューカウントを示す。示されている例によれば、図23のテーブル内のセッション情報を使用して、ある特定の時点におけるページビューを、（（1つ又は複数の）パネリストメーター1602によって識別されたパネリストメンバーではなく）パートナークッキーを使用してコンピューティングセッションに関連付けられたパネリストメンバーに関連付ける。次いでページビューが、人口統計グループごとに集約される。

10

【0121】

[0135]（1つ又は複数の）パネリストメーター1602からのパネリスト識別情報を使用して、例示的なパネリストセッションページビューアナライザ1612が、人口統計グループごとのページビューを特定する（ブロック2612）。ブロック2612のページビュー情報は、正確であると想定される人口統計情報による基本ページビューカウントに相当する。コンピュータセッションに関連付けられた（たとえば、コンピューティングデバイスのユーザを促すことによって特定された）記録されたパネリストメンバーを利用して、コンピューティングセッション中にページビューに関連付けられた人口統計情報を特定する。次いでページビューが、人口統計グループごとに集約される。

20

【0122】

[0136]次いで、調整係数ジェネレータ1614が、（ブロック2608からの）パートナークッキー情報に基づくページビューを、（ブロック2610からの）パネリストメンバーに基づくページビューと比較して、人口統計グループごとの（1つ又は複数の）調整係数を特定する（ブロック2614）。調整係数を特定するための例示的なプロセスについては、図29に関連して説明する。

【0123】

[0137]一例においては、（ブロック2612において特定される）パネリストセッション情報を使用した人口統計ごとのページビューのカウントを、 $P_{i,j}$ によって表すことができ、この場合、 i は、メディアプロバイダを表すインデックスであり、 j は、人口統計グループを表すインデックスである。（ブロック2610において特定される）パートナーセッション情報を使用した人口統計ごとのページビューのカウントを、

30

【数1】

$$P_{i,j}^{PART}$$

によって表すことができる。このような一例においては、メディアプロバイダ i 及び人口統計グループ j に関する調整係数

【数2】

$$r_{i,j}^p$$

40

が、

【数3】

$$r_{i,j}^p = \frac{P_{i,j}^{PART}}{P_{i,j}}$$

として特定される。

【0124】

50

[0138]同様に、人口統計グループに属するユニークパネリストの月平均のカウントを、 $UA_{i,j}$ によって表すことができ、この場合、 i は、メディアプロバイダを表すインデックスであり、 j は、人口統計グループを表すインデックスである。パートナーセッション情報を使用した人口統計ごとのユニークパネリストの月平均のカウントを、

【数 4】

$$UA_{i,j}^{PART}$$

によって表すことができる。このような一例においては、メディアプロバイダ i 及び人口統計グループ j に関する調整係数

【数 5】

$$r_{i,j}^{UA}$$

が、

【数 6】

$$r_{i,j}^{UA} = \frac{UA_{i,j}^{PART}}{UA_{i,j}}$$

として特定される。

【0125】

[0139]いくつかの例においては、調整係数は、サブカテゴリーレベルのカテゴリーで計算される（たとえば、調整係数は、ニュースカテゴリー内のすべてのメディアプロバイダに関して計算することができる）。たとえば、調整係数は、所与のメディアプロバイダ及び人口統計グループに関するユニーク視聴者が 100 未満である場合には、サブカテゴリーで計算することができる。

【0126】

[0140]図 27 は、パートナークッキーと、パネルメンバー識別子とを関連付けるための例示的なプロセスのフローチャートである。示されている例によれば、図 27 のプロセスは、図 16 のクッキー／パネリストマッチャー 1606 によって実行される。この例示的なプロセスは、クッキーインスタンスのリスト上で識別された第 1 のパートナークッキーを選択することによって開始する（ブロック 2702）。たとえば、パートナークッキーは、図 18 及び／又は図 22 において示されているようなリスト上で識別することができる。次いで、クッキーインスタンスが、コンピューティングセッション（たとえば、図 17 において示されているようなテーブル内で識別されたコンピューティングセッション）とマッチされ、それらのマッチしているコンピューティングセッションに関連付けられているパネリストメンバー識別子が小計される（ブロック 2704）。たとえば、メンバー識別子は、図 19 において示されているように小計することができる。その小計において最大のカウントを有するパネルメンバー識別子が選択される（ブロック 2706）。選択されたパートナークッキーと、選択されたメンバー識別子との関連付けが記録される（ブロック 2708）。たとえば、その関連付けは、図 20 及び図 21 において示されているように記録することができる。

【0127】

[0141]選択されたパートナークッキーに関する関連付けを記録した後に、クッキー／パネリストマッチャー 1606 は、処理すべきさらなるパートナークッキーがあるかどうかを特定する（ブロック 2710）。処理すべきさらなるパートナークッキーがある場合には、次なるパートナークッキーが選択され（ブロック 2712）、コントロールは、ブロック 2704 へ戻って、そのパートナークッキーを処理する。処理すべきさらなるパート

10

20

30

40

50

ナークッキーがない場合には、図 27 のプロセスは完了する。図 27 のプロセスが完了すると、その結果として、図 28 のプロセスを開始することができる。

【0128】

[0142] 図 28 は、図 27 において示されているプロセスによって特定された、クッキーとパネリストメンバーとの関連付けの情報に基づいてパネリストメンバーに関するセッション情報を特定するための例示的なプロセスのフローチャートである。示されている例によれば、図 28 のプロセスは、図 16 のパネリスト／セッションマッチャー 1608 によって実行される。この例示的なプロセスは、第 1 のパートナークッキーインスタンスを選択することによって開始する（ブロック 2802）。たとえば、第 1 のパートナークッキーインスタンスは、図 18 及び図 22 において示されているテーブルなど、パートナークッキーインスタンスのテーブルから選択することができる。次いで、図 27 において示されているプロセスによって特定された、クッキーとパネリストメンバーとの関連付けの情報を使用して、クッキーインスタンスに関するパネルメンバー識別子が特定される（ブロック 2804）。クッキーインスタンスの時刻が、コンピューティングセッションに関するセッション開始時刻として記録され、特定されたパネルメンバー識別子が、セッションに関連付けられる（ブロック 2806）。たとえば、セッション情報は、図 23 において示されているように記録することができる。

10

【0129】

[0143] セッション情報を記録した後に、パネリスト／セッションマッチャー 1608 は、処理すべきさらなるパートナーインスタンスがあるかどうかを特定する（ブロック 2808）。処理すべきさらなるパートナークッキーインスタンスがある場合には、次なるパートナークッキーインスタンスが選択される（ブロック 2810）。新たに選択されたクッキーインスタンスの時刻が、前に選択されたパネルメンバーセッションに関するセッションの終わりとして記録される（ブロック 2812）。言い換えれば、それぞれの新たなクッキーインスタンスの発生は、前のクッキーインスタンスの終了（及びそれによる、生じたパネルメンバー閲覧セッションの終了）を示す。次いでコントロールは、ブロック 2804 へ戻って、新たに選択されたクッキーインスタンスを処理する。

20

【0130】

[0144] 処理すべきさらなるパートナークッキーインスタンスがない場合には（ブロック 2808）、図 28 のプロセスは完了する。図 28 のプロセスが完了すると、その結果として、ブロック 2610 及び 2612 のうちの 1 つ又は複数を開始することができる。

30

【0131】

[0145] いくつかの例においては、メディア（たとえば、広告）は、1 つの広告ネットワーク内の複数のメディアプロバイダにわたって表示される。測定エンティティは、どのメディアプロバイダが広告を表示することになるかを前もって知ることはできない。さらに、別々のメディアプロバイダの人口統計は、ウェブページのターゲットとされている人口統計に応じて（たとえば、スポーツニュースのウェブページと、娯楽ニュースのウェブページとでは）異なる。したがって、（1 つ又は複数の）パネリストメーター 1602 は、メディアインプレッションが生じているドメイン名を取り込む（たとえば、（1 つ又は複数の）パネリストメーター 1602 は、広告のインプレッションをログに記録する際には、その広告が表示されたメディアプロバイダのドメイン名もログに記録する）。メディアが、広告ネットワーク及び非広告ネットワークの両方で表示される場合（広告が、いくつかのメディアプロバイダに直接提供される場合）には、ドメイン名は、ランダムサンプル（たとえば、インプレッションの 20 %）に関して取り込むことができる。

40

【0132】

[0146] 広告ネットワークに関するインプレッションを特定するために、メディアの提示中の（たとえば、広告キャンペーン中の）インプレッションボリュームによって重み付けされた複数のメディアプロバイダ調整係数の組合せである複合調整係数が特定される。いくつかの例においては、複合調整係数は、毎日計算される。

【0133】

50

[0147] 前述のように、調整係数

【数 7】

$$r_{i,j}^p$$

及びユニーク視聴者調整係数

【数 8】

$$r_{i,j}^{UA}$$

が計算される。加えて、広告ネットワークのメディアプロバイダ i に関連付けられているインプレッションの割合が、

【数 9】

$$p_{i,j}^{AN}$$

によって表される。たとえば、ある特定のメディアプロバイダは、カウントされたインプレッションの 40 % を占める可能性がある（すなわち、

【数 10】

$$p_{i,j}^{AN} = 0.40$$

）。広告ネットワーク AN 及び人口統計グループ j に関するインプレッション調整係数が、

【数 11】

$$r_{AN,j}^p = \sum_i p_i^{AN} \times r_{i,j}^p$$

として計算され、ユニーク視聴者調整係数が、

【数 12】

$$r_{AN,j}^{UA} = \sum_i p_i^{AN} \times r_{i,j}^{UA}$$

として計算される。したがって、1つの広告ネットワーク内に2つのメディアプロバイダがあって、メディアプロバイダ A がインプレッションの 40 % に相当し、メディアプロバイダ B がインプレッションの 60 % に相当するようにインプレッションが分散されている場合には、その広告ネットワークに関する複合調整係数は、 $0.4 \times$ メディアプロバイダ A に関する調整係数 $+ 0.6 \times$ メディアプロバイダ B に関する調整係数として計算される。そのような複合調整係数は、人口統計グループのそれぞれに関して計算することができる。

【0134】

[0148] 調整係数を計算した後に、それらの調整係数を、収集されたモニタリングデータ（たとえば、収集されたデータの母集団全体、収集されたデータのサブセットなど）に適用することができる。以降の例においては、報告を行うエンティティは、メディアプロバイダ又は広告ネットワークである。以降の測定データは、図 1 ～ 図 15 に関連して説明したようなタグ付け及びパートナーデータプロバイダの測定によって特定することができ

る。エンティティ i について米国に関するウェブページのタグ付けによって収集されたインプレッションを、 I_i によって表すことができ、世界中のサイトに関するウェブページのタグ付けによって収集されたインプレッションを、

【数 1 3】

$$I_i^g$$

によって表すことができる。米国に関するユニーククッキーカウントを、 I_{UC} によって表すことができ、世界中のサイトに関するユニーククッキーカウントを、

【数 1 4】

$$I_{UC}^g$$

によって表すことができる。パートナーデータベースプロバイダを使用して特定されたインプレッションを、

【数 1 5】

$$I_{i,j}^{PART}$$

によって表すことができ、パートナーデータベースプロバイダを使用して特定されたユニーク視聴者カウントを、

【数 1 6】

$$UA_{i,j}^{FB}$$

によって表すことができる。上述のように、エンティティ i 及び人口統計グループ j に関するインプレッション調整係数を、

【数 1 7】

$$r_{i,j}^p$$

によって表すことができ、ユニーク視聴者インプレッション係数を、

【数 1 8】

$$r_{i,j}^{UA}$$

によって表すことができる。

【0 1 3 5】

[0149] 国際除外係数が、

【数 1 9】

$$R_{i,c}^p = \frac{I_i}{I_i^g}$$

として特定される。この値は、世界中のエンティティのうちで、米国のデータによって表されるエンティティの割合を示す。

【0 1 3 6】

[0150] タグ付けを使用して特定されたインプレッションの合計数をマッチさせる目的でパートナーデータベースプロバイダのデータを調整するために、スケーリング係数が、

10

20

30

40

50

【数 2 0】

$$S_i^p = \frac{I_i}{\sum_j \frac{I_{i,j}^{PART}}{r_{i,j}^p}}$$

として計算される。それに応じて、パートナーデータベースプロバイダを使用した推定されたインプレッションが、

【数 2 1】

10

$$\tilde{I}_{i,j} = S_i^p \times \frac{I_{i,j}^{PART}}{r_{i,j}^p}$$

として特定される。

【0 1 3 7】

[0151]ユニーク視聴者国際除外係数が、

【数 2 2】

20

$$R_{i,c}^{UA} = \frac{I_{UC}}{I_{UC}^g}$$

として特定される。この値は、ユニーク視聴者のうちで、米国から来ているユニーク視聴者の割合を示す。パートナーデータベースプロバイダからのデータを使用して米国のユニーク視聴者カウントを特定するために、ユニーク視聴者国際除外係数が、パートナーデータベースプロバイダからのデータに対して複数の人口統計グループにわたって適用される。

【0 1 3 8】

30

[0152]合計ユニーク視聴者の測定が利用できない例においては、パートナーデータベースプロバイダのために観測された頻度は、パートナーデータベースプロバイダによって観測されなかった視聴者に関する頻度と同じであると想定することができる。それに応じて、生の観測された頻度が、

【数 2 3】

$$f = \frac{R_{i,c}^p \times \sum_j I_{i,j}^{PART}}{R_{i,c}^{UA} \times \sum_j UA_{i,j}^{PART}}$$

40

として特定される。ターゲット合計ユニーク視聴者が、

【数 2 4】

$$\frac{I_i}{f}$$

として特定される。スケーリングがない場合には、複数の人口統計グループにわたる調整されたユニーク視聴者の合計が、スケーリング係数

【数 2 5】

$$S_i^{UA} = \frac{\left(\frac{I_i}{f}\right)}{\sum_j \frac{UA_{i,j}^{PART}}{r_{i,j}^{UA}}}$$

によってスケールされる。それに応じて、ユニーク視聴者の推定値が、

【数 2 6】

$$\widetilde{UA}_{i,j} = S_i^{UA} \times \frac{UA_{i,j}^{PART}}{r_{i,j}^{UA}}$$

として特定される。

【0 1 3 9】

[0153] いったんデータが調整されると、それらのデータをキャンペーンごとにグループ化して、キャンペーンに関するインプレッション及びユニーク視聴者を特定することができる。キャンペーンに属するエンティティ（たとえば、メディアプロバイダ及び／又は広告ネットワーク）のセットが、 S_n によって表され、この場合、 n は、そのキャンペーンのインデックスである。そのキャンペーンに関する推定されたインプレッションを

【数 2 7】

$$\tilde{I}_{S_n,j} = \sum_{i \in S_n} \tilde{I}_{i,j}$$

として特定することができる。キャンペーンに関するユニーク視聴者を特定する際には、複数のサイトにわたる重複を認識することができる。したがって、それぞれの人口統計グループ j 及びキャンペーン n ごとに、キャンペーン重複係数が、

【数 2 8】

$$d_{n,j} = \frac{UA_{S_n,j}^{PART}}{\sum_{i \in S_n} UA_{i,j}^{PART}}$$

として特定され、この場合、 $d_{n,j}$ は、1 未満である。それに応じて、そのキャンペーンに関するユニーク視聴者推定値が、

【数 2 9】

$$\widetilde{UA}_{S_n,j} = d_{n,j} \times \sum_{i \in S_n} \widetilde{UA}_{i,j}$$

として特定される。

【0 1 4 0】

[0154] 上述の例は、計算された調整係数を使用してインプレッション及びユニーク視聴者を特定するための特定の方程式について説明しているが、任意の適切な方程式を使用することができる。

【0 1 4 1】

[0155]図29は、本明細書において開示されている例示的な装置、方法、及びシステムを実施するために使用することができる例示的なプロセッサシステム2910のブロック図である。図29において示されているように、プロセッサシステム2910は、相互接続バス2914に結合されているプロセッサ2912を含む。プロセッサ2912は、任意の適切なプロセッサ、処理装置、又はマイクロプロセッサとすることができる。図29には示されていないが、システム2910は、マルチプロセッサシステムとすることができ、ひいては、プロセッサ2912と同じ又は同様であり、相互接続バス2914に通信可能に結合されている1つ又は複数のさらなるプロセッサを含むことができる。

【0142】

[0156]図29のプロセッサ2912は、チップセット2918に結合されており、チップセット2918は、メモリコントローラ2920、及び入力／出力（I／O）コントローラ2922を含む。チップセットは、I／O機能及びメモリマネージメント機能、並びに複数の汎用レジスタ及び／又は専用レジスタ、タイマーなどを提供し、それらは、チップセット2918に結合されている1つ又は複数のプロセッサによってアクセス可能であるか、又は使用される。メモリコントローラ2920は、プロセッサ2912（又は複数のプロセッサが存在する場合には、それらのプロセッサ）がシステムメモリ2924、マストレージメモリ2925、及び／又は光学メディア2927にアクセスできるようにする機能を実行する。

【0143】

[0157]一般には、システムメモリ2924は、任意の所望のタイプの揮発性及び／又は不揮発性のメモリ、たとえば、スタティックランダムアクセスメモリ（SRAM）、ダイナミックランダムアクセスメモリ（DRAM）、フラッシュメモリ、読み取り専用メモリ（ROM）などを含むことができる。マストレージメモリ2925は、ハードディスクドライブ、光学ドライブ、テープストレージデバイスなどを含む任意の所望のタイプのマストレージデバイスを含むことができる。光学メディア2927は、デジタル多用途ディスク（DVD）、コンパクトディスク（CD）、又はブルーレイ光学ディスクなどの任意の所望のタイプの光学メディアを含むことができる。図10～図13のうちのいずれの命令も、システムメモリ2924、マストレージデバイス2925、光学メディア2927、及び／又はその他の任意のメディアによって表される有形のメディアのうちのいずれの上に格納することもできる。

【0144】

[0158]I／Oコントローラ2922は、プロセッサ2912が、I／Oバス2932を介して周辺入力／出力（I／O）デバイス2926及び2928並びにネットワークインターフェース2930と通信できるようにする機能を実行する。I／Oデバイス2926及び2928は、任意の所望のタイプのI／Oデバイス、たとえば、キーボード、ビデオディスプレイ又はモニタ、マウスなどとすることができる。ネットワークインターフェース2930は、たとえば、イーサネット（登録商標）デバイス、非同期転送モード（ATM）デバイス、802.11デバイス、デジタルサブスクライバライン（DSL）モデム、ケーブルモデム、セルラーモデムなどとすることができ、それによって、プロセッサシステム2910は、別のプロセッサシステムと通信することができる。

【0145】

[0159]メモリコントローラ2920及びI／Oコントローラ2922は、図29においては、チップセット2918内の別々の機能ブロックとして示されているが、これらのブロックによって実行される機能は、単一の半導体回路内に統合することができ、又は複数の別々の集積回路を使用して実施することもできる。

【0146】

[0160]上記では、数ある構成要素のうちでも、ハードウェア上で実行されるファームウェア及び／又はソフトウェアを含む例示的な方法、装置、システム、及び製品を開示しているが、そのような方法、装置、システム、及び製品は、例示的なものにすぎず、限定するものとみなされるべきではないということに留意されたい。したがって、上記では、例

10

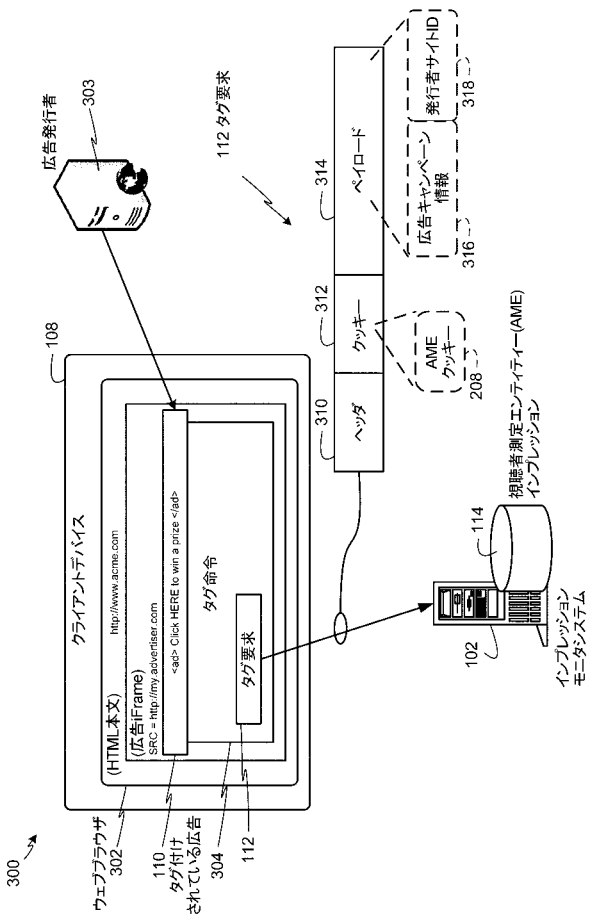
20

30

40

50

【図 3】

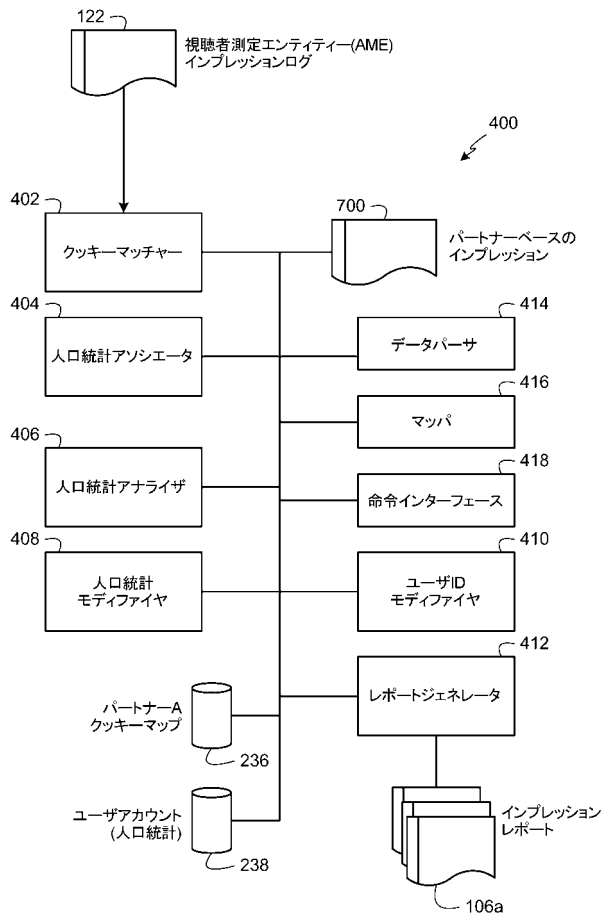


【図 5】

502	504	506
AMEユーザID	パートナーユーザID	ログインタイムスタンプ
123	TOM	01-01-2010 12:57 AM
123	MARY	01-01-2010 3:00 PM
123	TOM	01-01-2010 6:00 PM
456	TOM	01-01-2010 8:00 PM

パートナーユーザID

【図 4】



【図 6】

602	604	606	608
AMEユーザID	タイムスタンプ	キャンペーンID	サイトID
123	01-01-2010 1:57 AM	A0893B	325
123	01-01-2010 2:00 AM	A0983D	458
123	01-01-2010 4:00 AM	A0453A	325
123	01-01-2010 3:30 PM	A0294C	458
123	01-01-2010 4:30 PM	A0132B	325
123	01-01-2010 5:30 PM	A0893B	458
123	01-01-2010 6:30 PM	A0322D	687
456	01-01-2010 9:30 PM	A0983D	687
456	01-01-2010 10:30 PM	A0322D	458

AMEインプレッションストア

【図 7】

702	704	706	708	710	712
AMEユーザID	インプレッションタイムスタンプ	キャンペーンID	サイトID	ユーザログインタイムスタンプ	パートナーユーザID
123	01-01-2010 1:57 AM	A0893B	325	01-01-2010 12:57 AM	TOM
123	01-01-2010 2:00 AM	A0983D	458	01-01-2010 12:57 AM	TOM
123	01-01-2010 4:00 AM		325	01-01-2010 12:57 AM	TOM
123	01-01-2010 3:30 PM	A0294C	458	01-01-2010 3:00 PM	MARY
123	01-01-2010 4:30 PM	A0132B	325	01-01-2010 3:00 PM	MARY
123	01-01-2010 5:30 PM		458	01-01-2010 3:00 PM	MARY
123	01-01-2010 6:30 PM	A0322D	687	01-01-2010 6:00 PM	TOM
456	01-01-2010 9:30 PM		687	01-01-2010 8:00 PM	TOM
456	01-01-2010 10:30 PM	A0322D	458	01-01-2010 8:00 PM	TOM

パートナーベースのインプレッション

【図 8】

802	804	806
頻度	UUID(クッキー)	インプレッション
1	100,000	100,000
2	200,000	400,000
3	100,000	300,000
4	50,000	200,000
5	50,000	1,500,000
合計	500,000	2,500,000

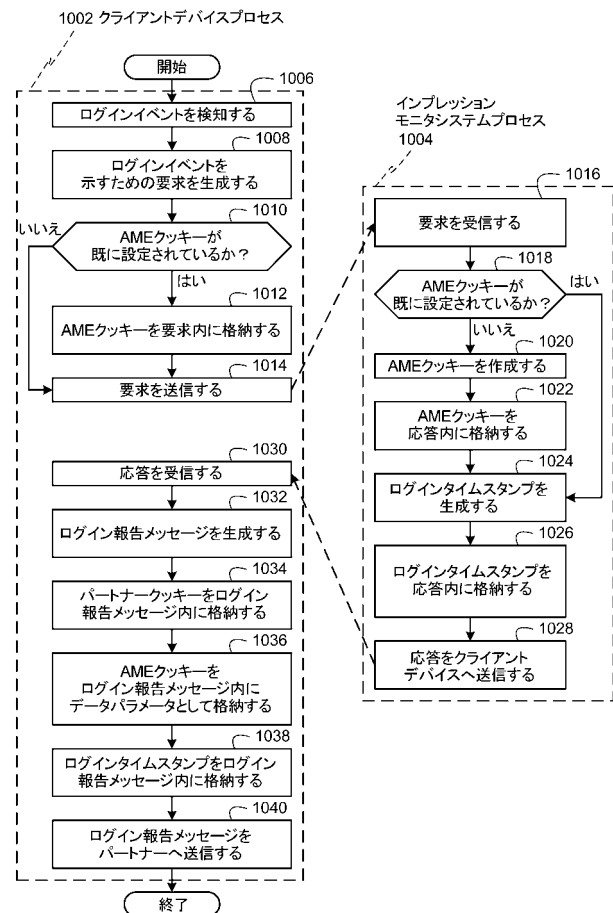
インプレッション集計

【図 9】

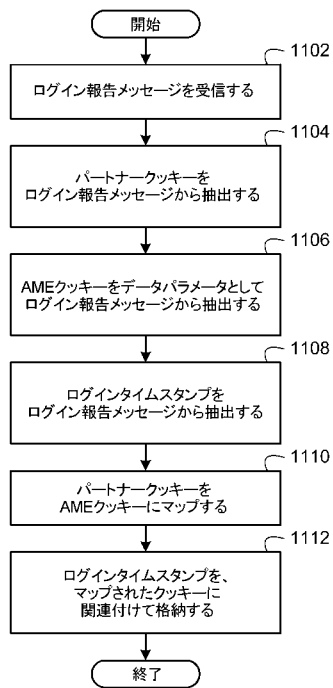
902	904	906	908
年齢/性別	インプレッション	頻度	インプレッション構成
M 13-18	1,000,000	4	33%
F 13-18	2,000,000	5	66%
...			
F 50+	0	0	0
合計	3,000,000	4.7	100%

キャンペーンレベル/年齢/性別/インプレッション構成テーブル

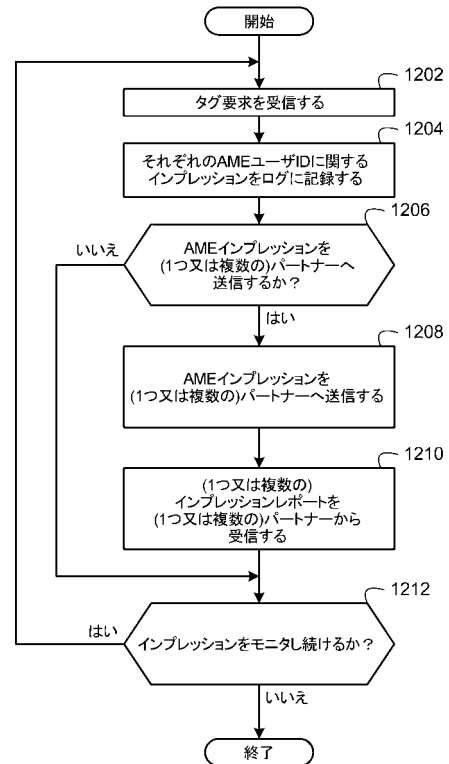
【図 10】



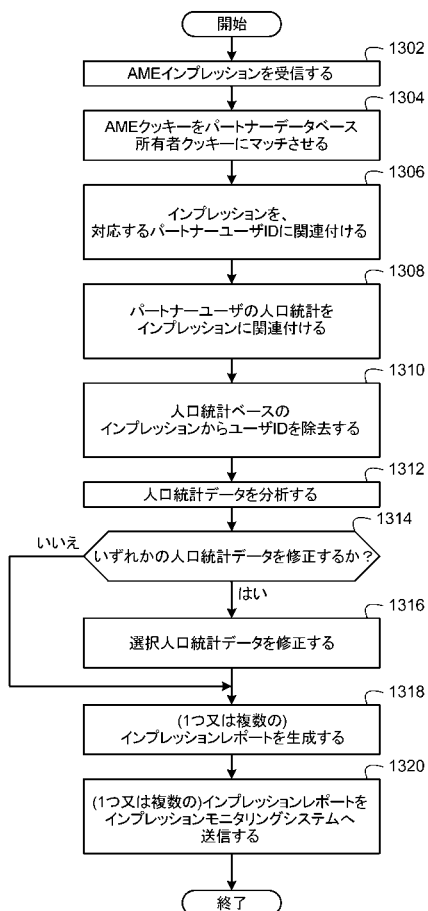
【図 1 1】



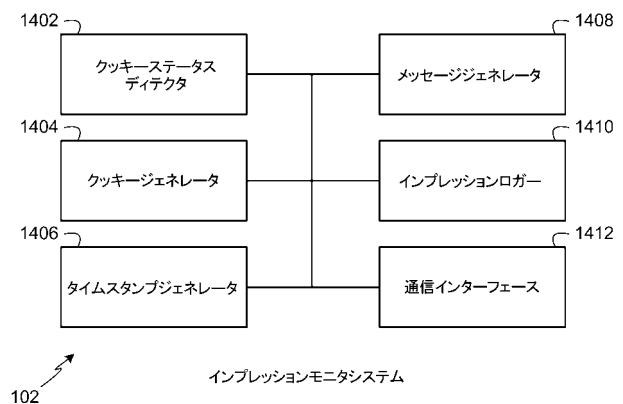
【図 1 2】



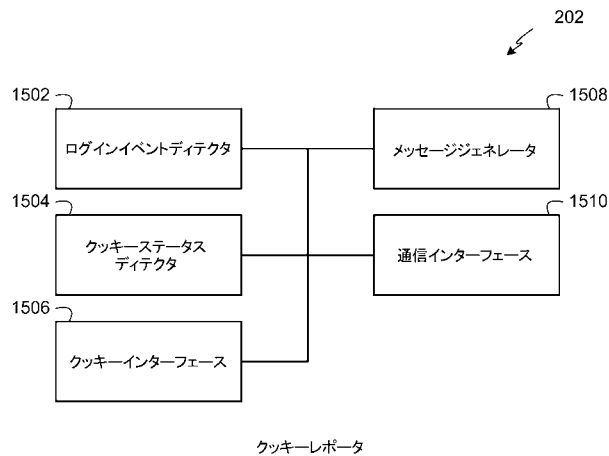
【図 1 3】



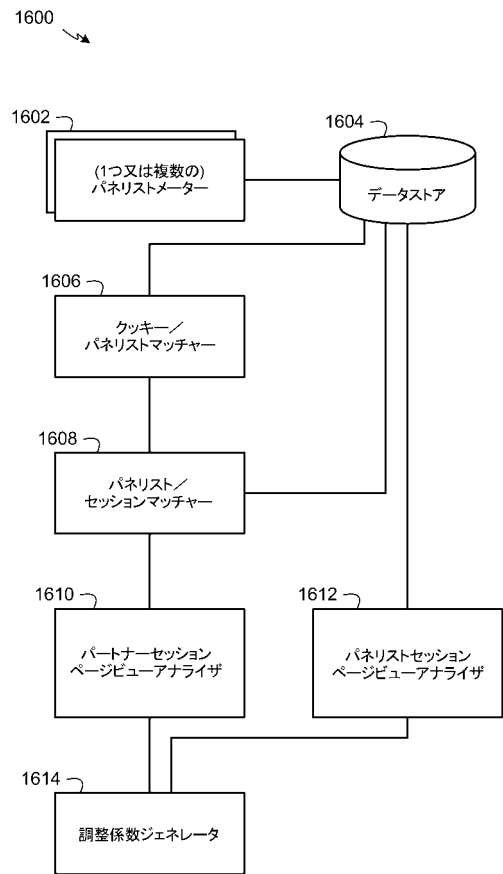
【図 1 4】



【図 1 5】



【図 1 6】



【図 1 7】

meter_id	member_id	computer_id	start_time	end_time
20144152076	1	856470	Sept. 14 12:02:33	Sept. 14 12:31:34
20144152076	2	856470	Sept. 14 13:10:14	Sept. 14 13:18:02
20144152076	2	856470	Sept. 15 08:05:15	Sept. 15 09:10:10
20144152076	1	856470	Sept. 15 17:15:09	Sept. 15 18:15:12

FIG. 17

【図 1 8】

cookie_value	meter_id	computer_id	local_time
100000964240495	1	856470	Sept. 14 12:12:33
100000964240495	2	856470	Sept. 14 08:15:15
100000964240495	2	856470	Sept. 15 17:15:02

FIG. 18

【図 19】

cookie_value	meter_id	member_id	クッキーからの ログインを伴う セッションのカウント
100000964240495	20144152076	1	2
100000964240495	20144152076	2	1

【図 20】

cookie_value	meter_id	member_id
100000964240495	20144152076	1

FIG. 20

【図 21】

cookie_value	meter_id	member_id
100000964240495	20144152076	1
643906871	20144152076	2

FIG. 21

【図 22】

cookie_value	meter_id	computer_id	local_time
100000964240495	20144152076	856470	Oct. 02 10:05:00
643906871	20144152076	856470	Oct. 3 12:35:00
100000964240495	20144152076	856470	Oct. 3 18:22:00

FIG. 22

【 図 2 3 】

computer_id	meter_id	member_id	session_start	session_end
856470	20144152076	1	Oct. 02 10:05:00	Oct. 3 12:34:59
856470	20144152076	2	Oct. 3 12:35:00	Oct. 3 18:21:59
856470	20144152076	1	Oct. 3 18:22:00	

FIG. 23

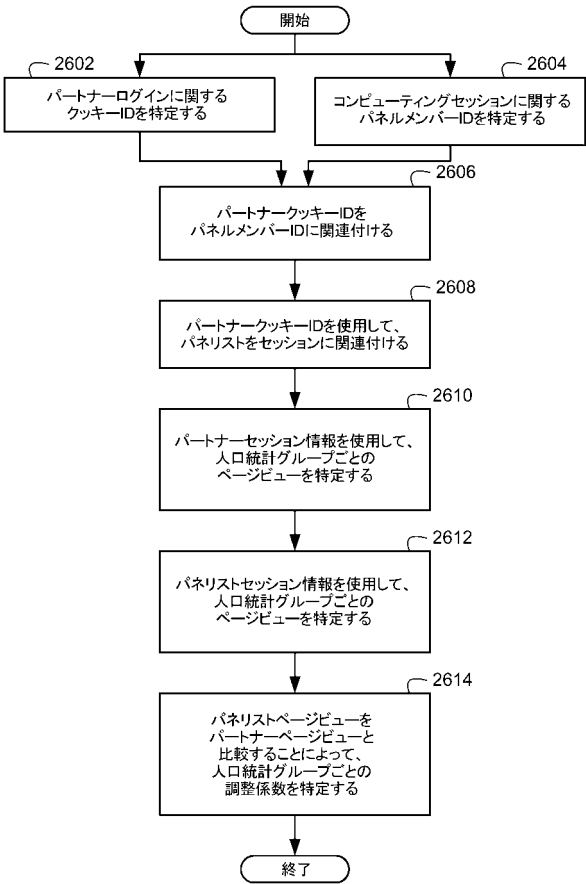
【 図 2 4 】

人口統計グループ	2404 (促されたパネリストの人口統計グループを使用した) ページビューカウント	2402 (パートナー情報の人口統計グループを使用した) ページビューカウント	2406 ページビュー調整係数
男性2才～11才	838	203	24%
男性12才～18才	1,643	1,908	116%
男性19才～25才	1,381	1,453	105%
男性26才～35才	2,901	1,641	57%
男性36才～54才	6,308	4,107	65%
男性55才以上	4,132	1,534	37%
女性2才～11才	910	379	42%
女性12才～18才	1,801	2,137	119%
女性19才～25才	1,687	2,017	120%
女性26才～35才	4,818	5,444	113%
女性36才～54才	8,849	6,647	75%
女性55才以上	5,675	2,663	47%
すべて	40,943	30,133	74%

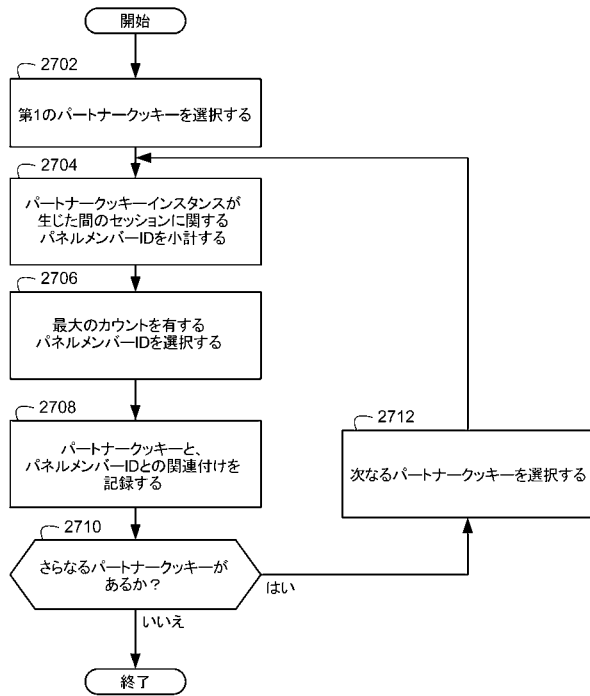
【 図 2 5 】

人口統計グループ	(促されたパネリストの人口統計グループを使用した)週平均のユニークパネリストカウント	(パートナー情報の人口統計グループを使用した)週平均のユニークパネリストカウント	ユニーク視聴者調整係数
男性2才～11才	33	15	44%
男性12才～18才	114	109	95%
男性19才～25才	104	92	88%
男性26才～35才	185	100	54%
男性36才～54才	364	192	53%
男性55才以上	208	68	33%
女性2才～11才	50	25	50%
女性12才～18才	134	150	112%
女性19才～25才	119	127	107%
女性26才～35才	266	262	98%
女性36才～54才	507	365	72%
女性55才以上	305	142	47%
すべて	2,389	1,646	69%

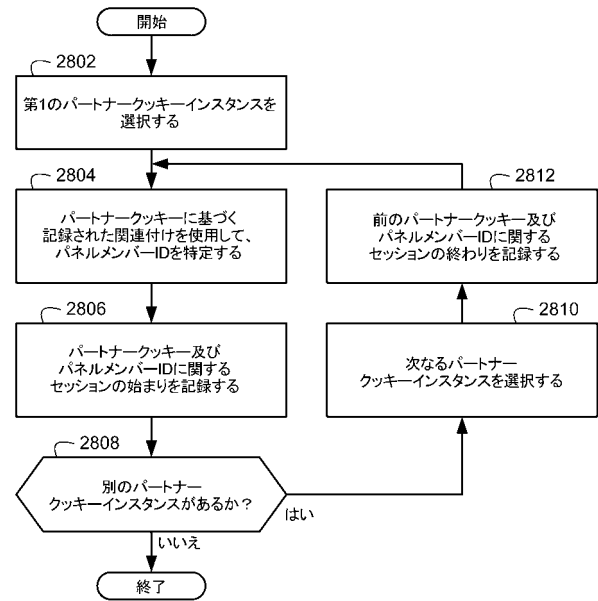
【 図 2 6 】



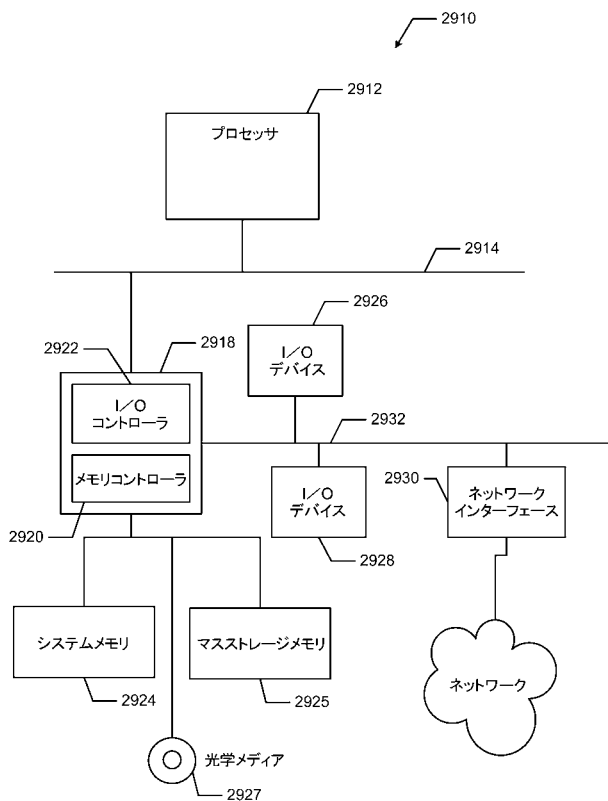
【図 27】



【図 28】



【図 29】



フロントページの続き

- (72)発明者 スリヴァスタヴァ, シーマ, ヴィ.
アメリカ合衆国, カリフォルニア州, サニーヴェール, ロビア ドライブ 1071
- (72)発明者 オリヴァー, ジェームス, アール.
アメリカ合衆国, カリフォルニア州, サン カルロス, ハワード アヴェニュー 2320
- (72)発明者 ドナト, ポール
アメリカ合衆国, ニュー ヨーク州, ニュー ヨーク, ヨーク アヴェニュー 1735
アパートメント 12ビー
- (72)発明者 マズムダール, マイナク
アメリカ合衆国, ニュー ヨーク州, ブルックリン, スキーマーホーン ストリート 22
1 アpartment ジェイ
- (72)発明者 オーリセット, ジュリエット
アメリカ合衆国, カリフォルニア州, メンロー パーク, コールマン アヴェニュー 74
5
- (72)発明者 ラオ, クマール
アメリカ合衆国, カリフォルニア州, サニーヴェール, モース アヴェニュー 1063
アパートメント ナンバー20-306
- (72)発明者 ベレス, アルバート, アール.
アメリカ合衆国, カリフォルニア州, サン フランシスコ, グリーン ストリート 101
- (72)発明者 ゴーント, ジョシュ
アメリカ合衆国, カリフォルニア州, サニーヴェール, スチュワート ドライブ 920
- (72)発明者 ペン, ユタオ
アメリカ合衆国, カリフォルニア州, クパチーノ, サウス ブラニー アヴェニュー 89
0

Fターム(参考) 5L049 BB08

【外国語明細書】
2017152006000001.pdf